

令和 7 年度

高等部
年間指導計画
(シラバス)

沖縄県立八重山特別支援学校

令和7年度 高等部 1年(I 課程 現代の国語) 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位 ／70	1 学年			大修館書店 新編 現代の国語
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標	(知及技) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 (思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (学・人) 言葉がもち価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
月 学 女 時	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	(知及技) 1 年間の授業の流れをつかむ。 (思判表力) 国語の知識を表現できる。 (学・人) 知っている知識を生活に生かすことができる。	(知・技) 授業の流れを理解している。 (思・判・表) 国語の知識を表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	オリエンテーションと知識の確認	・1 年間の授業の流れ ・知識の定着確認
	(知及技) 言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組むことができる。 (学・人) 「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもって取り組むことができる	(知・技) 言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組んでいる。 (主学) 「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている	ことばの準備体操	・発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 ・読みやすくわかりやすい字で正確に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。
	(知及技) 書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使うことができる。 (思判表力) 「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫することができる。 (学・人) 文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組むことができる。	(知・技) 書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 (思・判・表) 「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。 (主学) 文を整えたり接続表現を適切に用いたりすることに、意欲的に取り組もうとしている。	ことばの使い分け	・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。
	(知及技) 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、内容や構成、展開などについての的確にとらえ、要旨や要点を把握することができる。 (学・人) 積極的に学習に取り組む、説明の仕方をとらえることができる。	(知・技) 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、内容や構成、展開などについての的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 (主学) 積極的に学習に取り組み、説明の仕方をとらえようとしている。	説明の仕方をとらえよう	・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。

2 学期	30	(知及技)読書の意義と効用について理解を深めることができる。 (思判表力)「読むこと」において、筆者の着眼点のおもしろさや表現上の工夫を的確にとらえ、要旨を把握することができる。 (学・人)読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばすことができる。	(知・技)読書の意義と効用について理解を深めている。 (思・判・表)「読むこと」において、筆者の着眼点のおもしろさや表現上の工夫を的確にとらえ、要旨を把握している。 (主学)読書に意欲をもち、進んで本に手を伸ばそうとしている。	ももこのいきもの図鑑	・読書の意義について理解を深め、筆者のユーモアや技巧をとらえる。
		(知及技)効果的なPOPを作るために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記のしかたなどを理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (思判表力)「書くこと」において、本の魅力が的確に伝わるよう、文体、語句、レイアウトなどの表現のしかたを工夫することができる。 (学・人)本のPOP作りに興味をもち、意欲的に取り組もうとすることができる。	(知・技)効果的なPOPを作るために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法および表記のしかたなどを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (思・判・表)「書くこと」において、本の魅力が的確に伝わるよう、文体、語句、レイアウトなどの表現のしかたを工夫している。 (主学)本のPOP作りに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	本のPOPを作ろう	・POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にする。 ・POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書く。
		(知及技)個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握することができる。 (学・人)積極的に学習に取り組む、主張とその根拠、具体と抽象の関係についてとらえようとすることができる。	(知・技)個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 (主学)積極的に学習に取り組み、主張とその根拠、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	オカピの胃袋はいくつか	・筆者の主張とその根拠を意識しながら読む。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。
		(知及技)書き言葉の特徴をふまえて適切な敬語や頭語と結語などを用い、基本的な手紙の形式を理解して依頼状を書くことができる。 (思判表力)「書くこと」において、相手や目的を意識して適切な通信手段を選び、相手の気持ちを動かす依頼状になるよう内容や形式を検討することができる。 (学・人)依頼状を書く活動に意欲をもち、積極的に取り組もうとすることができる。	(知・技)書き言葉の特徴をふまえて適切な敬語や頭語と結語などを用い、基本的な手紙の形式を理解して依頼状を書いている。 (思・判・表)「書くこと」において、相手や目的を意識して適切な通信手段を選び、相手の気持ちを動かす依頼状になるよう内容や形式を検討している。 (主学)依頼状を書く活動に意欲をもち、積極的に取り組もうとしている。	相手を動かす依頼状を書く	・相手や目的に応じて、適切な通信手段を選択する。 ・相手の気持ちを動かすような依頼状を書く。
3 学期	14	(知及技)話し言葉の特色をふまえて、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使うことができる。 (思判表力)「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫	(知・技)話し言葉の特色をふまえて、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫	対話のレッスン	・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。

	することができる。 (学・人)対話の力やコミュニケーション力を高めることに興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとすることができる。	している。 (主学)対話の力やコミュニケーション力を高めることに興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。		
	(知・技)「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり改善したりすることができる。 (思・判・表)「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由(根拠)の関係を考へて、文章の構成や展開を工夫することができる。 (学・人)意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとするすることができる。	(知・技)「書くこと」において、推敲の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり改善したりしている。 (思・判・表)「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由(根拠)の関係を考へて、文章の構成や展開を工夫している。 (主学)意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。	意見文の基礎を学ぼう	・意見文の基本的な書き方と、構成のしかたを知る。 ・意見と理由を備えた基本的な意見文を書く。
	(知・技)筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 (思・判・表)読むこと」において、筆者の主張を的確に読み取り、文章の内容について自分の考えを深めている。 (学・人)進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	(知・技)筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 (思・判・表)読むこと」において、筆者の主張を的確に読み取り、文章の内容について自分の考えを深めている。 (主学)進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	自分の考えを深めながら読む(導入ページ)	・筆者の主張を的確に読み取り、それに対する自分の意見をもつ。 ・読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。
留意点 引継ぎ等	・遠足、就業体験、修学旅行、交流学习との関連付け、各活動の事前事後学習との知識の接続が行えるようにする。 ・ワークシートや小テスト、作品、生徒の自己評価、観察などで、3観点に基づいた見取を行う。 ・手紙(葉書)の書き方指導や毛筆指導にも取り組み、言語文化の担い手としての意識を高める。			

令和7年度 高等部 1年（I課程 言語文化） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2 単位 ／ 7 0		1 年			大修館書店 新編 言語文化
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 (思判表力)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (学・人)言葉がもち価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2 6	(知及技)言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて理解することができる。 (学・人)言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとすることができる。	(知・技)言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 (主学)言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	言葉の森を育てよう	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。
		(知及技)古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人)古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとする。	(知・技)古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学)古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	古文への招待 いろはうた	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。
		(知及技)文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価することができる。 (学・人)登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとする。	(知・技)文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 (主学)登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	児のそら寝	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。

		(知及技) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価することができる。 (学・人) 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしてすることができる。	(知・技) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 (主学) 登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしてしている。	とんかつ	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。
		(知及技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 (学・人) 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとすることができる。	(知・技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもってしている。 (主学) 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	訓読のきまり／格言／再読文字	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。
2 学期	30	(知及技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人) 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしてすることができる。	(知・技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学) 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	五十歩百歩	・「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。
		(知及技) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 (思判表力) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての確にとらえることができる。 (学・人) 日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとすることができる。	(知・技) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての確にとらえている。 (主学) 日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	漢字と仮名の使い分け	・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。

	(知及技) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての確にとらえることができる。 (学・人) 日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとすることができる。	(知・技) 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての確にとらえている。 (主学) 日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	足し算の文化	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。
	(知及技) 詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力) 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫することができる。 (学・人) 四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうことができる。	(知・技) 詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表) 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 (主学) 四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。
	(知及技) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 (学・人) 作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりすることができる。	(知・技) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 (主学) 作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしている。	祖母が笑うということ	・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・文章の展開のしかたや表現のしかたに着目し、文章表現を味わう。
	(知及技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人) 『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつことができる。	(知・技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学) 『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつようとしている。	枕草子 春はあけぼの	・音読して古文の読み慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。

3 学 期	1 4	(知及技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (思判表力)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人)言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとすることができる。	(知・技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 (思・判・表)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学) 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	羅生門	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。
		(知及技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人) 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとする。	(知・技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学) 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	蛇足	・「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。
		(知及技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 (思判表力)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 (学・人)『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもととすることができる。	(知・技) 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 (思・判・表)「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (主学)『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとととしている。	徒然草 高名の木登り	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。
		留意点 引継ぎ等	・遠足、就業体験、修学旅行、交流学习との関連付け、各活動の事前事後学習との知識の接続が行えるようにする。 ・ワークシートや小テスト、作品、生徒の自己評価、観察などで、3観点に基づいた見取を行う。 ・手紙（葉書）の書き方指導や毛筆指導にも取り組み、言語文化の担い手としての意識を高める。		

令和7年度 高等部 1年（I 課程 国語実践）国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
Ⅰ単位 ／35		Ⅰ学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (思判表力)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (学・人)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期	13	(知及技)相手の目を見てはなし たり聞いたりするとともに、間の取 り方などに注意して話すことがで きる (思判表力)話し手が伝えたいこ との中心に注意して聞き、話の内 容を捉えることができる。 (学・人)幅広く読書をし、他者と 自分の思いや考えを伝え合おうと する態度を養う。	(知・技)相手の目を見て話したり 聞いたりしている。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」 において、話し手の内容を注意し て聞き、適切に理解している。 (主学)図書館の様々な本に触れ、 興味を持とうとしている。他者と自 分の考えを伝えるなど積極的に関 わりようとしている。	・他己紹介(インタビュー) をしよう	・他己紹介に必要な内容 をインタビューし、まとめ、 発表する。
		(知及技)文章を読んで、作者の 考えとそれを支える理由や事例、 全体と中心など、情報と情報との 関係について理解することができる。 (思判表力)文章を読んで理解し たことに基づいて、感想や考えを もつことができる。 (学・人)他者と自分の思いや考え を伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)本文の言葉(「誰が、何 を、どうした」等)を根拠に作者の 考えやそれを支える理由について 答えている。 (思・判・表)文「読むこと」におい て、文章を読んで自分の感想を言 葉で表現している。 (主学)他者と自分の考えを伝える など積極的に関わりようとしている。	・物語・説明文・詩を読 もう ・平和について考えよう	・物語、説明文を読み、内 容を理解する。 ・平和に関する作品鑑賞。
		(知及技)日常よく使われる敬語 を理解することができる。 (思判表力)相手や目的を意識し た表現になっているか確かめた りして、文章を整えることができ る。 (学・人)他者と自分の思いや考え を伝え合おうとする態度を養う。	(知・技)相手や場面によって適切 な敬語を理解し、使っている。 (思・判・表)「書くこと」において、 間違いを正したり、お互いに文章 を読み合ったりして、表現を確か め、文章を整えている。 (主学)他者と自分の考えを伝える など積極的に関わりようとしている。	・敬語の使い方(就業体 験、販売会に向けて)	・敬語(丁寧語、尊敬語、 謙譲語)の使い方や電話 のかけ方、メモの取り方を 学び、実践する。
Ⅱ学期	15	(知及技)相手の目を見てはなし たり聞いたりするとともに、間の取 り方などに注意して話すことがで きる。 (思判表力)相手や目的を意識し て、書くことを決め、集めた材料を 比較するなど、伝えたいことを明 確にすることができる。 (学・人)他者と自分の思いや考え	(知・技)相手の目を見て話したり 聞いたりしている。 (思・判・表)「書くこと」において、 発表する内容の目的を意識し、内 容をまとめ、適切に伝えている。 (主学)他者と自分の考えを伝える	・わかりやすく書こう、伝 えよう	・自分の「すきなもの、おも しろいもの」を考え、説明 をまとめ、ICT 機器を使っ て発表する。

		を伝え合おうとする態度を養う。	など積極的に関わろうとしている。		
		(知及技) 親しみやすい古文の文章を音読し、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 音読を通して、描かれた情景や作者の気持ちを具体的に想像し、表現することができる。 (学・人) 多くの作品に触れ、読書に親しむ態度を育てる。	(知・技) 古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品の時代背景や古典特有のリズムをもとに、作者の気持ちを想像し、表現している。 (主学) 時代の異なる様々な文体や作品に触れ、親しもうとしている。	・古典文学や沖縄の文芸に親しむ ・本に親しむ	・古典文学や郷土の古典芸能(組踊、琉歌)を学ぶ。 ・図書館の本を活用した学習活動や読書標語創作を行う。
3 学期	7	(知及技) 短歌や俳句独特のリズムや言葉の響き、技法に親しむことができる。 (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学・人) 多くの作品に触れ、短歌や俳句に親しむ態度を育てる。	(知・技) 古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品の時代背景や表現技法をもとに、作者の気持ちを想像している。 (主学) 様々な作品に触れ、短歌や俳句に親しむことができている。	・百人一首 ・短歌、俳句	・百人一首(坊主めくり、散らし取り、競技かるた) ・短歌、俳句の鑑賞、創作
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解することができる。 (思判表力) 相手や目的を意識して、敬語を使って話すことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 敬体と常体があることを理解している。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面によって適切な敬語を選択し、話している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・お世話になった先生や先輩に感謝の手紙を書く こう	・感謝の手紙を書く。
		(知及技) 考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 本文の言葉(「誰が、何を、どうした」等)を根拠に作者の考えやそれを支える理由について答えている。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章を読んで自分の感想を言葉で表現している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・いろいろな情報の読解	・生活に関わる読み物から必要な情報を得、知識を活用する。
留意点 引継ぎ等		・義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るようにする。			

単位数 /配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2 / 7 0		1 年		「わたしたちの歴史 日本から世界へ」(81・山川・歴総709)	
目標：(知及技)知識及び技能		(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等		
評価：(知・技)知識・技能		(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度		
年間目標		(知及技) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) 現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期	4 月 5 h	(知及技)・アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解する。 (思判表力)・貿易統制と産業発達の関係や全国市場の形成について考察し、表現する。 (学・人)・18 世紀のアジアと日本の概況やヨーロッパとの関係について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技)・アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解できている。 (思判表力)・貿易統制と産業発達の関係や全国市場の形成について考察し、表現できている。 (学・人)・18 世紀のアジアと日本の概況やヨーロッパとの関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	近代化への問い 第 1 部 近代化と私たち 「近代化について学ぼう」	① 一年間の授業の流れ ② 18 世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係 ③ 江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成
	5 月 6 h	知及技)・産業革命がイギリスで始まったことを理解する。 ・労働運動が発生する背景や労働者の要求を理解する。 (思判表力)資料や図版などから、産業革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化について考察し、表現する。 (学・人)産業革命の過程と社会問題の発生について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技)・産業革命がイギリスで始まったことを理解できている。 ・労働運動が発生する背景や労働者の要求を理解できている。 (思判表力)資料や図版などから、産業革命による技術革新の連鎖や世界の結びつきの変化について考察し、表現できている。 (学・人)産業革命の過程と社会問題の発生について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「欧米の海外進出について学ぼう」	①産業革命 ②産業革命と世界の結びつき ③産業革命による社会や暮らしの変化、民衆の反応 ④アヘン戦争について ⑤アヘン戦争と日本 ⑥開国と通商開始
	6 月 7 h	(知及技)「自由」「平等」という概念が近代自然法思想から生まれたことを理解する。 (思判表力)資料や図版などから、自然法思想・社会契約説と市民革命の関係について考察し、表現する。 (学・人)市民革命と国民統合の関連性について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技)「自由」「平等」という概念が近代自然法思想から生まれたことを理解できている。 (思判表力)資料や図版などから、自然法思想・社会契約説と市民革命の関係について考察し、表現できている。 (学・人)市民革命と国民統合の関連性について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「人権とは何かを学ぼう」	①18 世紀後半以降の欧米諸地域における市民革命 ②江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程 ③明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容 ④明治初期の日本が抱えていた外交課題について ⑤自由民権運動と大日本帝国憲法 単元テスト①
	7 月 7 h	(知及技) 明治維新からの流れを理解している。 (思判表力)資料や図版などから、明治政府の政策の新しい面とかわらなかった面について考察し、表現できている。 (学・人)明治維新の意義について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	(知及技) 明治維新からの流れを理解している。 (思判表力)資料や図版などから、明治政府の政策の新しい面とかわらなかった面について考察し、表現できている。 (学・人)明治維新の意義について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「19 世紀～20 世紀の日本と世界について学ぼう」	①明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴 ②第 2 次産業革命と帝国主義の関係 ③日露戦争から韓国併合に至る流れ ④大正デモクラシー ⑤第一次世界大戦について ⑥第二次世界大戦について

					⑦ロシアにおける社会主義革命 ⑧普通選挙実施に向けて ⑨国際協調の時代 ⑩アジアにおける民族運動
2 学期	9 月 7 h	(知及技) アメリカ合衆国に始まる大量生産・大量消費社会の特徴を具体的事例とあわせて理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、表現する。 (学・人) 大量生産・大量消費社会の特徴やこれがもたらした影響について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) アメリカ合衆国に始まる大量生産・大量消費社会の特徴を具体的事例とあわせて理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、表現できている。 (学・人) 大量生産・大量消費社会の特徴やこれがもたらした影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「戦争までの道筋」	①大量生産・大量消費 ②世界恐慌 ③独裁勢力の台頭 ④日本のアジア侵出 ⑤第二次世界大戦 ⑥第二次世界大戦と日本 ⑦第二次世界大戦の終結 ⑧戦後国際秩序
	10 月 6 h	(知及技) ヨーロッパにおける冷戦の推移を具体的な事例とあわせて理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、ヨーロッパにおける冷戦の推移と東西両陣営の対応について考察し、表現する。 (学・人) 冷戦の開始が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) ヨーロッパにおける冷戦の推移を具体的な事例とあわせて理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、ヨーロッパにおける冷戦の推移と東西両陣営の対応について考察し、表現できている。 (学・人) 冷戦の開始が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「戦後の世界を学ぼう」	①冷戦のはじまり ②日本の戦後改革と日本国憲法 ③日本の独立
	11 月 7 h	(知及技) 冷戦構造の拡大と核軍備拡大競争の過程を理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響を考察し、表現する。 (学・人) 冷戦の拡大と固定化が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) 冷戦構造の拡大と核軍備拡大競争の過程を理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響を考察し、表現できている。 (学・人) 冷戦の拡大と固定化が同時代の国際社会に与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「平和とは何かを考えよう」	第3部 グローバル化とわたしたち ①第三世界の登場 ②冷戦の固定化と「雪どけ」 ③冷戦の展開 ④55年体制と安保闘争 ⑤高度経済成長の光と影
	12 月 6 h	(知及技) アメリカの対東アジア政策の転換が米中接近や沖縄返還をもたらしたことを理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、ベトナム戦争が北側の勝利に終わった背景について考察し、表現する。 (学・人) ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) アメリカの対東アジア政策の転換が米中接近や沖縄返還をもたらしたことを理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、ベトナム戦争が北側の勝利に終わった背景について考察し、表現できている。 (学・人) ベトナム戦争がアメリカに与えた影響について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「戦後経済の成長について学ぼう」	①ベトナム戦争とアメリカ ②経済構造の変化 ③日本の経済大国化 ④アジアの経済成長
3 学期	1 月 7 h	(知及技) 社会主義停滞の原因には経済だけでなく政治的な抑圧もあったことを理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、社会主義停滞の原因について考察し、表現する。 (学・人) 社会主義の停滞と新自由主義の対等の関係について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) 社会主義停滞の原因には経済だけでなく政治的な抑圧もあったことを理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、社会主義停滞の原因について考察し、表現できている。 (学・人) 社会主義の停滞と新自由主義の対等の関係について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「冷戦後の世界を学ぼう」	①社会主義の停滞と新自由主義 ②冷戦の終結 ③冷戦後の地域紛争
	2 月 7 h	(知及技) EU やASEAN結成に至る過程を理解する。 (思判表力) 資料や図版などから、現代の地域連合の特徴について考察し、表現する。 (学・人) 地域統合の進展と役割について、見通しをもって学習に取り組む。	(知及技) EU やASEAN結成に至る過程を理解できている。 (思判表力) 資料や図版などから、現代の地域連合の特徴について考察し、表現できている。 (学・人) 地域統合の進展と役割について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	「現代世界の諸課題について学ぼう」	①地域統合 ②現代世界の諸課題 ③日本の諸課題

3月 5h	(知及技) 対立・協調の観点から、平和や国際理解のために懸命に尽くした人々に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解する。 (思判表力) 対立・協調の観点から、平和や国際理解のために尽くした人々の行動などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。 (学・人) 対立・協調について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、1年間の学習をまとめる。	(知及技) 対立・協調の観点から、平和や国際理解のために懸命に尽くした人々に関する諸資料をもとに情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わるグローバル化の歴史を理解できている。 (思判表力) 対立・協調の観点から、平和や国際理解のために尽くした人々の行動などに着目して、これまでの学習を振り返り、資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現できている。 (学・人) 対立・協調について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、1年間の学習をまとめようとしている。	「探究学習」	いまのわたしたちにつながる課題 ○対立・協調 ○開発・保全
留意点 引継ぎ等	・就業体験実習、交流学习、校外学習等との関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・単元テストや授業プリントなどで知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点について見取る。			

令和7年度 高等部 1年 I 課程 公民科 公共 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
1 / 35		1 年		高等学校公民科 「私たちの公共」 (35・清水・公共 706)	
目標：(知及技)知識及び技能		(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等		
評価：(知・技)知識・技能		(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度		
年間目標		(知及技) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。 (思判表力) 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるところについて多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 世界の宗教や日本の思想等に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることを理解する。	(知及技) 青年期の課題や社会的存在であることについて理解している。 (思・判・表) 公共的な空間を作り出す存在であることについて思考し、表現している。 (主学) 自分自身や他者の価値観について理解し表現している。	第 1 章 社会で生きるということ	・一年間の授業の流れ ・青年期について ・世界の宗教について ・日本の思想について
	5	(知及技) 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 (思判表力) 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考える。 (学・人) 幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、自分はどう生きるかを考えることができる。	(知及技) 幸福を重視する考え、義務を重視する考えを理解することができる。 (思判表力) 人間としての在り方、生き方について考え、表現している。 (学・人) 幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、自分はどう生きるかを考え、表現している。	第 2 章 みんなが幸せな社会とは？	・「よく生きるとは？」 ・幸福な社会—功利主義 ・幸福な社会—正義 ・生命と科学技術の問題と倫理 ・環境問題と人間の活動
	5	(知及技) 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 (思判表力) 諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。 (学・人) 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する。	(知及技) 公共的な空間を作る上で必要なことがらについて理解している。 (思判表力) 諸資料を読み取り、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できる。 (学・人) 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第 3 章 公共的な空間における基本原理	・個人の尊重と社会 ・民主主義、立憲主義 ・法はなぜ必要なのか
	6	(知及技) 具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解する。 (思判表力) 「消費者の権利と義務」について、具体的な事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 (学・人) ルールやマナーについて、よりよいあり方を考え自身の生活において	(知及技) 職業生活について、様々な資料や具体的な活動を通して理解しているとともに、情報を適切に調べとめている。 (思判表力) 「消費者の権利と義務」について、具体的な事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現している。	第 1 章 私たちの生活と法	・個人と法 ・消費者の権利と義務 ・日本国憲法の成立と基本原理
2 学期					

		主体的に活用しようとする力を身につける。	(学・人)ルールやマナーについて、よりよいあり方を考え自身の生活において主体的に活用しようとする力を身につける。		
3 学期	1 2	(知及技) 地方自治や選挙のしくみ、民主政治において、世論が果たす役割と課題について理解する。 (思判表力) 裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現する。 (学・人) 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。	(知及技) 地方自治や選挙のしくみ、民主政治において、世論が果たす役割と課題について理解している。 (思判表力) 「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現している。 (学・人) 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	第2章 私たちの生活と政治	・日本の統治機構と世界の統治機構 ・国会のしくみとはたらき ・内閣のしくみとはたらき ・行政機関としての国の役割と体制 ・裁判所のしくみとはたらき ・紛争解決のしくみ ・模擬裁判をやってみよう！
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習、修学旅行、交流学习との関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・単元テストや授業プリントなどで知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3観点について見取る。 ・2単位の継続履修なので、2年次に残りの35時間を履修する。			

教科	数学	科目	数学Ⅰ	担当者		
教科書	新高校の数学Ⅰ（数研出版）			単位数	3	単位
教科の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
評価の観点及びその趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			

月	指導 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準			評価方法	備考
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4月	2	第1章 数と式 第1節 式の計算 ①多項式の加法と減法	式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	○単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 ・例1～3、練習1～4 ○多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ・例4～5、練習5～6 ○多項式の加法、減法の計算ができる。 ・例6～7、練習7～8		○単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。 ・小項目A、B	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート	
	3	②多項式の乗法		○指数法則を理解し、多項式の乗法の計算ができる。 ・例8～10、練習9～11 ○展開の公式を利用できる。 ・例11～12、練習12～13 ○式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ・例13、例題1～2、練習14～16	○式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。 ・例9～10、練習10～11 ○式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。 ・例13、例題1～2、練習14～16	○多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとする。 小項目B		
	4	③因数分解		○因数分解の公式を利用できる。 ・例15～17、例題4、練習19～21 ○因数分解を行うのに、文字のおき換えを利用することができる。 ・応用例題1～2、練習22～23	○複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 ・応用例題3～4、練習24～25	○式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 ・応用例題1～4、練習22～25 ○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 ・小項目A、B、C		
5月								
	1	補充問題						

	2	第1章 数と式 第2節 実数 ④実数	中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	○分数を循環小数で表すことができる。 ・練習26 ○有理数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解している。 ・p.28 ○有理数、無理数、実数の定義を理解し、それぞれの範囲での四則計算の可能性について理解している。 ・小項目A, B ○絶対値の意味と記号表示を理解している。 ・例19～20, 練習28～31	○四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 ・小項目B ○実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を開係づけて考察することができる。 ・小項目C	○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。 ・小項目A, B	
	3	⑤根号を含む式の計算		○平方根の意味、性質を理解している。 ・例21, 練習32 ○根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 ・例23～24, 例題5～6, 練習33～39	○根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 ・p.33～34	○根号を含む式の計算公式を証明しようとする。 ・p.33	
	1	補充問題					
6月	2	第1章 数と式 第3節 1次不等式 ⑥不等式の性質	不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	○不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 ・例26, 練習41 ○不等式の性質を理解している。 ・例27, 練習42～43		○不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとする。 ・p.38, 41	
	3	⑦1次不等式		○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ・例28～30, 例題7～8, 練習44～46 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 ・例31, 例題9, 練習47	○ $A < B < C$ を $A < B$ か $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができる。 ・例題10, 練習48 ○身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 ・応用例題6, 練習51	○不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。 ・小項目A, B	
	1	⑧絶対値を含む方程式・不等式		○絶対値の意味から、絶対値を含む方程式、不等式を解くことができる。 ・例32, 例題11, 練習52～53		○絶対値記号を含む方程式や不等式を解くことに取り組む意欲がある。	
	1	補充問題					
	2	章末問題					
	3	第2章 集合と命題 ①集合	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	○集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 ・例2～4, 練習2～4 ○空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。 ・例5～7, 練習5～8 ○ド・モルガンの法則を理解している。 ・p.61	○条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。 ・例1, 練習1 ○ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 ・小項目C, D, E	○集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 ・小項目A, B, C, D, E	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート
7月	3	②命題と条件		○命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反例を調べることで、命題の真偽を決定することができる。 ・例8～9, 練習10～13 ○必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ・例10～11, 練習14～16 ○条件の否定、ド・モルガンの法則を理解し、複雑な条件の否定が求められる。 ・例12～14, 練習17～19	○命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 ・小項目C ○命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 ・例9, 練習13	○命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。 ・小項目A, B, C ○条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。 ・小項目C	
	1	③命題とその逆・対偶・裏		○命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。 ・例15, 練習20		○命題とその対偶の真偽の関係について考察しようとする。 ・小項目B	
	2	④命題と証明		○対偶による証明法や背理法のしくみを理解している。 ・例題1～2, 練習22～23	○命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することができる。 ・例題1～2, 練習22～23	○直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心を持ち、実際に証明しようとする。 ・p.70 導入部分, 小項目A, B	
	1	補充問題					
	2	章末問題					

9月	2	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ ①関数とグラフ	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	○ $y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解し、用いることができる。 ・例2, 練習2 ○与えられた条件から1次関数を決定することができる。 ・例題1, 練習3 ○定義域に制限がある1次関数のグラフがかけ、値域が求められる。 ・例題2, 練習4	○2つの変量の関係を関数式で表現できる。 ・例1, 練習1	○日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。 ・例1	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート
	6	②2次関数のグラフ		○ $y=[ax]^2$, $y=[ax]$ $y=[a(x-p)]^2$, $y=[a(x-p)]^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ・p.83～89 ○ $[ax]^2+bx+c$ を $[a(x-p)]^2+q$ の形に変形できる。 ・例5～6, 練習10～11 ○平方完成を利用して、2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ・例7, 例題3, 練習12	○2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 ・小項目E ○2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ のグラフを、 $y=[ax]^2(2)$ のグラフをもとに考察することができる。 ・p.91～92 ○放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 ・応用例題1, 練習13	○放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ・小項目A ○一般の2次関数 $y=[ax]^2+bx+c$ について、頂点、軸の式を考察しようとする。 ・p.93本文	
	1	補充問題					
10月	4	第3章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化 ③2次関数の最大・最小	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ・p.97, 練習14 ○2次関数 $y=[a(x-p)]^2+q$ の形に式変形して、最大値、最小値を求めることができる。 ・例題4, 練習15 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 ・p.99～101	○2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ・p.97 ○具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 ・応用例題3, 練習20	○日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。 ・応用例題3, 練習20	
	2	④2次関数の決定		○2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 ・例題6～7, 練習21, 23 ○連立3元1次方程式の解き方を理解している。 ・例10, 練習22	○2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 ・例題6～7, 練習21, 23	○2次関数の決定条件に興味・関心をもち、考察しようとする。 ・p.104～106	
	1	補充問題					
	3	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式 ⑤2次方程式		○2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 ・例11～13, 練習24～26 ○2次方程式において、判別式 $D=b^2-4ac$ の符号と実数解の個数の関係を理解している。 ・例14, 練習27	○2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 ・例題8～9, 練習28～29	○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。 ・例12, 練習25 ○1次の係数が'2b'である2次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。 ・例13, 練習26	
	3	⑥2次関数のグラフとx軸の位置関係		○2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 ・例15～16, 練習30 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。 ・例18, 練習31	○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、 $D=b^2-4ac$ の符号から考察することができる。 ・例題10, 練習32	○2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。 ・p.113～115	
11月	7	⑦2次不等式	2次不等式の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次不等式の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	○2次不等式を解くことができる。 ・例21, 例題11～13, 練習34～40 ○2次不等式を利用する応用問題を解くことができる。 ・応用例題4, 練習41 ○2次の連立不等式を解くことができる。 ・例題14, 練習43～44	○2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 ・例20, 22, 23 ○2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 ・応用例題5, 練習42	○1次関数と1次不等式の関係から、2次不等式の場合を考えようとする。 ・例19～20, 練習33 ○2次不等式を解くときに、図を積極的に利用する。 ・p.120～121 ○身近な問題を2次不等式で解決しようとする。 ・応用例題6, 練習45	
	1	補充問題					
	2	章末問題					

	3	第4章 図形と計量 第1節 三角比 ①三角比	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	○直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 ・例1～2, 練習1～2 ○三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。 ・例4, 練習5 ○直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 ・例題1, 応用例題1, 練習6～7	○三角比の表から $\sin\theta$, $\cos\theta$, $\tan\theta$ の値を読み取ることができる。 ・練習3 ○具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・例題1, 応用例題1, 練習6～7	○日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 ・例題1, 応用例題1, 練習6～7	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート
12月	2	②三角比の相互関係		○三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・例題2～3, 練習9～10 ○ $\sin(90^\circ - \theta) = \cos\theta$ などの公式が利用できる。 ・例5, 練習11～12	○三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 ・p.140	○三角比の相互関係を調べようとする。 ・p.140	
	4	③三角比の拡張		○直角三角形の斜辺の長さを適当に変えて、三角比を考察することができる。 ・例6, 練習13 ○ $\sin(180^\circ - \theta) = \sin\theta$ などの公式が利用できる。 ・例7, 練習14 ○ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値からの残りの値を求めることができる。 ・例8～9, 例題4, 練習15～18	○既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 ・p.143～144	○これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。 ・小項目A, B ○三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。 ・例8～9, 練習15～16	
	1	補充問題					
	2	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 ④正弦定理		○正弦定理における $A=B=C=D$ の形の関係を適切に処理できる。 ・p.152～153 ○正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 ・例10, 例題5, 練習19～21	○三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係式として、正弦定理を導くことができる。 ・p.150～151 ○正弦定理を測量に応用できる。 ・練習22	○正弦定理の図形的意味を考察する。また、三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから、正弦定理を導こうとする。 ・p.150～151	
	2	⑤余弦定理		○余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。 ・例題6～7, 練習24, 26	○三角形の辺と角の間に成り立つ関係式として、余弦定理を導くことができる。 ・p.154, 練習23 ○余弦定理を測量に応用できる。 ・練習25	○余弦定理の図形的意味を考察する。また、三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする。 ・p.154, 練習23	
1月	2	⑥正弦定理と余弦定理の応用		○余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・応用例題2, 練習28	○正弦定理を $a:b:c = \sin A:\sin B:\sin C$ としてとらえ、三角形の角の大きさについて考察することができる。 ・応用例題3, 練習29	○三角形の解法について興味を示し、 $\sin 75^\circ$ なども求めようとする。 ・応用例題2, 練習28	
	2	⑦三角形の面積		○三角比を用いた三角形の面積を求める式を理解している。 ・例11, 練習30 ○3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 ・例題8, 練習31～32	○三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。 ・p.160 ○三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角または3辺から求めることができる。 ・例11, 例題8, 練習30～32	○既知である三角形の面積の公式から、三角比を使う面積の公式を導こうとする。 ○3辺が与えられた三角形の面積を、これまで学習した公式などを利用できないか考察しようとする。	
	2	⑧空間図形への応用		○三角比を測量に応用できる。 ・応用例題4, 練習33 ○正弦定理、余弦定理を空間図形の計量に応用できる。 ・応用例題5, 練習34 ○三角比を利用して、正四面体などの体積を求めることができる。 ・p.166	○空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。 ・応用例題4～5, 練習33～34	○日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。 ・応用例題4, 練習33	
	1	補充問題					
	2	章末問題					

2月	1	第5章 データの分析 ①データの整理	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	○度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 ・練習1～2		○データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 ・小項目A, B	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート	
	1	②データの代表値		○平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ・例1～3, 練習3～5	○データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。 ・小項目C	○身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 ・小項目A, B, C		
	2	③データの散らばりと四分位数		○範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 ・例4～6, 練習6～7 ○箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。 ・例7, 練習8 ○ヒストグラムと箱ひげ図の関係について理解している。 ・小項目D	○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 ・小項目A, B ○データの中に他の値から極端にかけ離れた外れ値が含まれる場合について、外れ値の背景を探ることの利点を考察することができる。 ・小項目E	○データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。 ・小項目A, B		
	2	④分散と標準偏差		○偏差の定義とその意味を理解している。 ・p.183 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。 ・例8～10, 練習10～11		○分散と標準偏差について興味関心を持ち、それらを調べようと取り組む。		
3月	3	⑤2つの変量の間の関係	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	○相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。 ・p.189～190, 例11, 練習13～14 ○相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 ・p.190 ○分割表の意味を理解し、問題解決に活用することができる。 ・練習15	○散布図を作成し、2つの変量の間の相関を考察することができる。 ・p.187～188, 練習12 ○データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確にとらえて説明することができる。 ・小項目A, B, C ○複数のデータを、散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 ・小項目A, B, C, D, E	○相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。 ・小項目C ○相関関係と因果関係の違いについて考察しようとする。 ・小項目D		
	1	⑥仮説検定の考え方		○仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 ・例12, 練習16	○不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 ・小項目A	○身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。 ・小項目A		
	1	補充問題						
	2	章末問題						

教科	数学	科目	数学A	担当者		
教科書	新高校の数学A(数研出版)			単位数	1	単位
教科の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
評価の観点及びその趣旨	知識・技能 ・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	思考・判断・表現 ・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。			

月	指導 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準			評価方法	備考
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4月	3	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ①集合の要素の個数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。・例1, 練習1 ○和集合, 補集合の要素の個数の公式を利用できる。・例2, 練習2 ○ベン図を利用することで、和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。・例題1, 練習3 ○具体的な日常の事象に対して、集合を考えることで、人数などを求めることができる。・応用例題1, 練習4～5	○ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができる。・p.15～17	○集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 ・応用例題1, 練習4～5 ○表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し、それを利用しようとする。 ・練習4	・行動観察 ・単元テスト ・振り返りシート ・ノート ・レポート	
5月	4	②場合の数		○樹形図を用いて、場合の数を求めなくかつ重複なく数えることができる。・例3, 応用例題2, 練習6～8 ○和の法則, 積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。・例題2～3, 応用例題3, 練習9～12	○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。・p.19～21 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。・p.22	○道順の数え方に興味を示し、樹形図, 和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもつ。・p.18 ○自然数の正の約数の個数を数えること, 式の展開を利用して約数が列挙できることに興味を示す。・p.22		
6月	4	③順列		○順列の総数, 階乗を記号で表し、それを活用できる。 ・例4～5, 練習13～15 ○順列, 円順列, 重複順列の公式を理解し、利用することができる。・例4～7, 例題4～5, 練習13～17, 20, 23 ○順列, 円順列に条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。・応用例題4～5, 練習18～19, 21～22	○条件が付く順列, 円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。・応用例題4～5, 練習18～19, 21～22 ○既知の順列や積の法則をもとにして、円順列, 重複順列を考察することができる。 ・例6～7, 例題5, 応用例題5, 練習20～23	○既知である積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。・p.23～24 ○色の塗り分けの方法を数えるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・練習17 ○順列, 円順列, 重複順列の違いに興味・関心をもつ。 ・例6～7		
7月	4	④組合せ		○組合せの総数を記号で表し、それを活用できる。また、組合せの公式を理解し、利用することができる。・例8～9, 例題6～7, 練習24～28 ○組合せの条件が付く場合に、条件の処理の仕方を理解している。・例題6～7, 練習27～28 ○組分けの総数を求めることができる。・応用例題6, 練習29 ○同じものを含む順列の総数を求めることができる。・例題8, 応用例題7, 練習30～31	○既知である順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 ・p.30～31 ○条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・例題6～7, 練習27～28 ○同じものを含む順列を、組合せて考察することができる。 ・p.35	をもつ。 ・p.30～31 ○組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ・例題6, 8, 練習27, 30		
9月	2	補充問題						

10月	3	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 ⑤事象と確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○確率の意味、試行や事象の定義を理解している。 ・p.39～40 ○試行の結果を事象として表すことができる。 ・p.40, 例10, 練習32 ○確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ・例11～12, 例題9～11, 応用例題8, 練習33～39	○試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結びつけて考察することができる。 ・p.40, 例10, 練習32 ○不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えることができる。 ・例11～12, 例題9～11, 応用例題8, 練習33～39	○1個のさいころを繰り返し投げる実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ・小項目A		
11月	4	⑥確率の基本性質		○積事象、和事象の定義を理解している。 ・例13, 練習40 ○確率の基本性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 ・例題12, 例15, 応用例題9, 練習43～46 ○確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率を求めることができる。 ・例16, 練習47	○集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 ・p.45～50	○加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。 ・例題12, 例15～16, 応用例題9, 練習43～47		
12月	4	⑦独立な試行と確率		○独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ・例17～18, 練習48～49 ○複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ・例題13, 練習50 ○反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ・例19, 練習51 ○複雑な反復試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ・例題14, 練習52	○独立な試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 ・p.51～53 ○既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察することができる。 ・p.54～55	○独立な試行の確率について、興味をもって調べようとする。 ・p.51～53 ○具体的事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。 ・p.54～55		
1月	3	⑧条件付き確率		○条件付き確率を、記号を用いて表すことができる。 ・p.56～58 ○条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 ・p.58 ○条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ・例22, 例題15, 練習55～57	○既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。 ・p.56～57	○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。 ・p.56～59		
2月	2	⑨期待値		○期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 ・例23, 例題16, 練習58～59	○結果が不確実な状況下において、どの選択が有理かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。 ・p.62	○日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとする。 ・p.62		
3月	2	補充問題						

総時数 35

令和7年度 高等部 I 課程 数学実践 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	
1／35		1 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解する (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりする (学・人)数学で学んだことを生活に活かそうとする			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)数量や図形などについての既習事項を振り返る (思判表力)四則演算について振り返る (学・人)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につける	(知・技)数量や図形などについての既習事項を解くことができる (思・判・表)四則演算を理解することができる (主学)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につけることができる	・オリエンテーション ・既習事項の復習	・一年間の授業の流れ ・数学の知識の確認
	17	(知及技)数量について数学的に表現・処理する (思判表力)数量の関係から適切な式を立てる (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)数量について数学的に表現・処理する姿勢が身につけている (思・判・表)数量の関係から適切な式を立てることができる (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・四則演算 ・文章題 ・お金 ・時間 ・長さ ・割合	・計算方法を考えよう ・計算の仕方を工夫しよう ・お金の支払い ・スケジュールを立てよう ・身近な物の長さを測ろう
2 学期	7	(知及技)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察する (思判表力)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解する (学・人)授業で学んだことを身近な図形へ関連付ける	(知・技)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察している (思・判・表)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解することができる (主学)授業で学んだことを身近な図形へ関連付けている	・三角形と四角形 ・多角形 ・合同 ・相似 ・作図	・三角形と四角形の性質を知ろう ・いろいろな形を探してみよう ・合同と相似
3 学期	8	(知及技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る (思判表力)目的に応じてデータを集めてグラフで表す (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取ることができる (思・判・表)目的に応じてデータを集めてグラフで表している (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ ・帯グラフ	・グラフから情報を読み取ろう ・適切なグラフの種類を考えよう ・グラフを描いてみよう
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習と関連付けて指導する。 ・学んでいることが生活につながっていることを実感できる題材を選ぶ。			

令和7年度 高等部1学年 I 課程 科学と人間生活 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／7 0		1 学年		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活 との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思判表力) 自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 1 年間の授業の流れをつかむ。 (思判表力) 理科の知識を表現できる。 (学・人) 知っている知識を生活に生かすことができる。	(知・技) 授業の流れを理解している。 (思・判・表) 理科の知識を表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	オリエンテーションと知識の確認 ・1 年間の授業の流れ ・理科の知識の定着確認
	20	(知及技) 科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解する。 (思判表力) 日常生活や社会、未来と科学がどのようにつながっているのかを考える。 (学・人) 科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきたこと、資源の活用、環境問題の解決、持続可能な社会の実現に向けた取り組みや自分たちができる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。	(知・技) 科学技術の発展が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解している。 (思・判・表) 科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に考察し、表現している。 (主学) 科学技術と人間生活との関わりに関心を持ち、資料を調べたり、友達と対話したりしながら、科学技術が果たす役割や課題について考えようとしている。	・科学技術の歴史と発展 ・エネルギーや情報技術の発展 ・持続可能な未来のために
2 学期	25	(知及技) 植物繊維がセルロースから、動物繊維がタンパク質からできていることを理解する。 (思判表力) ささまざまな天然繊維の特徴と用途について理解し、それぞれがなぜその用途で利用されているのかを考える。 (学・人) 植物繊維や動物繊維の利用とその製品の製造の例を通して、繊維に対する興味・関心を高める。	(知・技) 血糖濃度を調節する仕組みについて理解している。 (思・判・表) 既習の内容や生徒の経験から問題を見出したり、データをもとに科学的に考察している。 (主学) 知識・技能の習得に向けて粘り強く取り組んでいる。	・衣料の化学 ・食品の化学 ・身の回りのいろいろな繊維 ・有機繊維と無機繊維の特徴と有用性 ・食品に含まれる各栄養素のはたらき ・石鹸で汚れが落ちる仕組み ・炭水化物、タンパク質の変化

3 学期	20	(知及技) ヒトの目の構造や免疫など体内に関することを理解する。 (思判表力) ヒトの体内環境の働きからインスリンや抗体濃度の変化等から働きについて考察する。 (学・人) ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに科学に対する興味・関心を高める。	(知・技) ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) 活動するためのエネルギー源として炭水化物に着目し、体内での炭水化物の利用に問題を見いだし、表現している。 (主学) 学んだことを生かして、体内時計を維持するための規則正しい生活の重要性について考えようとしている。	・人の視覚と光による影響 ・血糖濃度を調整する仕組み ・体を守る免疫の仕組み ・生命現象の台本となる遺伝子の働き	・視覚の特徴 ・血統濃度の調整 ・免疫の仕組み ・DNA の遺伝情報
留意点 引継ぎ等	自然の事物・事象をできるだけ見せる（体験させる）ことに努めるが、できない場合には ICT 機器を効果的に活用していく。				

令和7年度 高等部1学年 科学実践(理科) 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35		1 学年		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技)自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 (思判表力)自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人)自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。		
月	学数時	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)1年間の授業の流れをつかむ。 (思判表力)理科の知識を表現できる。 (学・人)知っている知識を生活に生かすことができる。	(知・技)授業の流れを理解している。 (思・判・表)理科の知識を表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	オリエンテーションと知識の確認 ・1年間の授業の流れ ・理科の知識の定着確認
	10	(知及技)天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思判表力)天気の変化の仕方について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人)天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技)天気は雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思・判・表)天気の変化の仕方について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	天気と気温と台風 ・気温を計ってみよう ・天気図をみてみよう ・なぜ台風のとき風が強いのか
2 学期	10	(知及技)生き物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思判表力)自然や生き物について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人)自然や生き物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技)生き物は色、形、大きさなど、違いがあることを理解している。 (思・判・表)自然や生き物について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	八重山の自然と生き物 ・校庭を散策しよう ・学校にいる生き物を探してみよう ・八重山(沖縄)の天然記念物
	10	(知及技)水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。 (思判表力)水の性質について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人)水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技)水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。 (思・判・表)水の性質について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学)知識を生活に生かそうとしている。	温度と水のすがた ・水を冷やしてみよう ・水を温めてみよう ・氷を触ってみよう(温度を感じてみよう)
留意点 引継ぎ等		自然の事物・事象をできるだけ見せる(体験させる)ことに努めるが、できない場合にはICT機器を効果的に活用していく。		

令和7年度 高等部1～3学年（I課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1 学年			☆本
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について知り、音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 (思判表力) 音楽を自分なりの言葉で表現し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて歌うことができる。 (思判表力) 歌詞の内容を考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人) ピアノ伴奏に合わせて、仲間と一緒に気持ちを込めて歌うことができる。	(知・技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて歌っている。 (思・判・表) 歌詞の内容を考えながら歌い方を工夫している。 (主学) ピアノ伴奏に合わせて、仲間と一緒に気持ちを込めて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・校歌 ・Believe ・島人ぬ宝	・発声する際の注意点を分かりやすく説明しながら進める。 ・新年度を迎え新しい気持ちで歌えるように声かけしていく。
	7	(知及技) 基礎的な楽典一般を理解することができる。 (思判表力) 楽器の基本的な奏法を学習し、音色や響きに気をつけて演奏することができる。 (学・人) 他者の楽器の音や伴奏を聴いてリズムや速度を合わせて演奏できるようにする。	(知・技) 基礎的な楽典一般を理解している。 (思・判・表) 楽器の基本的な奏法を学習し、音色や響きに気をつけて演奏している。 (主学) 他者の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏している。	楽典 ・ワークシート 器楽 ・キーボード ・打楽器 ・リズムカード	・楽典基礎 ・打楽器等を使用して、楽曲の雰囲気をリズムで表現する。 ・簡単な旋律を演奏する。
	3	(知及技) リズムの特徴を感じ取り、ボディパーカッションに挑戦する。 (思判表力) リズムを聴き、様々な動きを組み合わせて表現することができる。 (学・人) 友だちと動きを合わせて表現することができる。	(知・技) リズムの特徴を感じながらボディパーカッションを楽しんでいる。 (思・判・表) リズムを聴き、様々な動きを組み合わせて表現している。 (主学) 友だちと動きを合わせて表現している。	・ボディパーカッション	・体の色々な部位をたたきながら曲に合わせてリズムを表現する。
	3	(知及技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力) 曲想の雰囲気を感じとり、リズムや速度、旋律の特徴について理解できるようにする。 (学・人) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技) 鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表) 曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解している。 (主学) 鑑賞に関する知識を得ながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽, 洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を準備して鑑賞する。

			いている。		
2 学期	6	(知及技)正しい姿勢を心がけ、発声に気をつけながら歌うことができる。 (思判表力)歌詞の内容と曲想との関わりを考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人)お互いの歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌うことができる。	(知・技)正しい姿勢を心がけ発声に気をつけながら歌っている。 (思・判・表)歌詞の内容と曲想との関わりを考えながら歌い方を工夫している。 (主学)お互いの歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・夏の思い出 ・赤とんぼ ・もみじ	・発声する際の注意点を分かりやすく説明しながら進める。 ・秋の気配を感じられるような言葉かけを意識して進める。
	4	(知及技)音楽の構造を意識し、多様な楽器の音色と全体の響きを感じながら演奏できるようにする。 (思判表力)曲の雰囲気合った表現を工夫しながら演奏できるようにする。 (学・人)他者の楽器の音や伴奏を聴いてリズムや速度を合わせて演奏できるようにする。	(知・技)音楽の構造を意識し、多様な楽器の音色と全体の響きを感じながら演奏している。 (思・判・表)曲の雰囲気合った表現を工夫しながら演奏している。 (主学)他者の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏しようとしている。	器楽 ・キーボード 合奏	・ミニキーボードを使用して、簡単な練習曲を演奏する。 ・自分の好きな曲、挑戦してみたい曲を挙げてもらい、演奏の完成を目指す。
	4	(知及技)鑑賞についての知識を生かしながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解できるようにする。 (学・人)鑑賞に関する知識を生かしながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技)鑑賞についての知識を生かしながら、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解している。 (主学)鑑賞に関する知識を生かしながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を用意する。 ・音楽そのものだけでなく、歴史や背景についても学ぶ機会を作る。
3 学期	6	(知及技)範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌うことができる。 (思判表力)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人)仲間の歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌うことができる。	(知・技)範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌っている。 (思・判・表)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫している。 (主学)仲間の歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌っている。	歌唱 ・卒業のうた ・まとめ	・発声時に気をつけることを再確認する。 ・歌詞の内容を確認しながら、1年間のまとめを行う。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部I学年（I課程）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		Ⅰ 学年			視聴覚教材
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ 学期	26	(知及技) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。 (思判表力) 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。 (学・人) 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、体力などの違いに配慮しようとするこ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行っている。 (思・判・表) 仲間と学習する場面で、体力の違いに配慮した補助の仕方などを見付けること。体ほぐしのねらいを踏まえて、自己の課題に応じた活動を選ぶことや、ねらいや体力の程度に応じて、適切な運動の種類、強度、量、頻度を設定している。 (主学) 健康・安全を確保し、体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。	・体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動	・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率よく組み合わせで行う。 ・5分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動
		(知及技) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームを展開することができる。 (思判表力) 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題的な課題やチームの作戦・課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。 (学・人) 球技に主体的に取り組む	(知・技) 球技の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身につけるためのポイントがあることを理解している。 (思・判・表) 自己や仲間の技や行い方、体力の高め方、課題的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動を	・しっぽとり鬼ごっこ ・ボール運び鬼 ・フラッグフットボール	ボール運び鬼 ・空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりする。 ・少人数で連携し相手をかわしたりする。 ・逃げる相手を追いかけて、タグを取ったりする。 フラッグフットボール ボール操作 ・マークされていない味方にパスを出すこと。 ・得点しやすい空間にいる味方にパ

	組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができる。	しようとしている。		スを出すこと。 ボールを持たないときの動き ・パスを受ける為にゴール前の空いている場所に動くこと
	(知及技) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、自己に適した泳法の効率を高めて、泳ぐことができる。 (思判表力) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。 (学・人) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができる。	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能が身に付いている (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	・水泳	・手と足の動き呼吸のバランスを取る ・浮く・進む→歩行、プル、キック ・呼吸(顔つけ) クロール(速く泳ぐ) ・一定のリズムで力強いキックができる。 ・腕全体で水をキャッチし S 字や I 字を描くようにみずをかくことができる 平泳ぎ(長く泳ぐ) ・長く伸びるキックができる。 ・偏り前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 背泳ぎ・バタフライ バランスをとり泳ぐこと。
！ 2 学期	(知及技) 武道について技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や学習を通して理解し、形に技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができる。 (思判表力) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、自己の責任を果たそうということ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということや、健康安全を確保することができる。	(知・技) 空手道の歴史や、伝統的な考え方について、教材や学習を通して理解し、形においては、空手道の基本動作を基に、忠実に突き、受け、蹴りを行うことができる。 (思・判・表) 空手道の基本動作、対人的技能の学習を通して、自己の技能、体力の程度に応じた得意技について考えている。 (主学) 空手道の授業に自主的、能動的に取り組む、進んで課題や問題解決に取り組もうとしている。	・空手	・普及型 I

2 学 期	5	(知及技) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表することができる。 (思判表力) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。 (学・人) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。	(知・技) それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があることを理解している。 (思・判・表) 作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見つけ、仲間に伝え合っている。(主学) 作品創作などについての話し合いに貢献しようとしている。仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりし、互いに助け合い教え合おうとしている。	・ダンス	・身近な曲に乗って身体を動かす。 ・見たことや経験したことのある動きやジェスチャーを真似してゲーム化する。 ・表現、創作ダンス、リズムダンス、伝統的な踊り(エイサー) ・発表会 ICT 機器の活用。
	25	(知及技) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができる。 (思判表力) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。 (学・人) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝え合っている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・陸上競技(短距離)	・短距離走 クラウチングスタートの行い方、自分に合ったピッチとストライドを探そう。 ・滑らかな動きで速く走ることができる。 ・カミのないフォームで走ることができる。 ・リレー バトンの受け渡してタイミングを合わせることができる。 ・長距離走 自分の体力や技能にあったペースを維持して走ろう
3 学 期		(知及技) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができる。 (思判表力) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができる。 (学・人) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗など	(知・技) 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 (思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝え合っている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルー	・陸上競技(長距離)	長距離走(1～2 km) 時間走(10分)

		を冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、役割を積極的に引き受け 自己の責任を果たそうとする こと、合意形成に貢献しようと することなどや、健康・安全を 確保することができる。	ル、マナーなどを守り、自 己の役割を果たし仲間と協 力したり、場や用具の安全 を確保したりし、見通しを もって自主的に運動しよう としている。		
	14	(知及技)次の運動について、 勝敗を競う楽しさや喜びを味 わい、作戦や状況に応じた技 能や仲間と連携した動きを高 めてゲームを展開することが できる。 (思判表力)技術などの名称 や行い方、体力の高め方、課 題解決の方法、競技会の仕方 などを理解し、チームや自己 の課題に応じた運動を継続す るための取り組み方を工夫す ることができる。 (学・人)球技に主体的に取り 組むとともに、フェアなプレイを 大切にしようとするこ、役割 を積極的に引き受け自己の責 任を果たそうとすること、合意 形成に貢献しようとするこなど や、健康・安全を確保するこ とができる。	(知・技)球技の各種目にお いて用いられる技術や戦術、 作戦には名称があり、それら を身につけるためのポイントが あることを理解している。 (思・判・表)自己や仲間の技 能的な課題やチームの作戦・ 戦術についての課題や課題 解決に有効な練習方法の選 択について、自己の考えを伝 えることができる。 (主学)きまりやマナーを守り、 仲間と協力し自主的に運動を しようとしている。	・球技	・サッカー ・パスを受けるため。ゴール前の空い ている場所に動くことができる。 ・得点しやすい空間にいる味方にパ スを出すことができる (ボール操作と攻撃や守備の際に空 間に走り込むなどの動きを身に付け、 ゲームを行うこと。) ・風船バレーボール ・ソフトバレーボール ・相手型のコートや開いた場所にボ ールを打ち返すこと。 ・味方が操作しやすい位置にボール をつなぐこと
留意点	授業内での調べ学習、メディア表現、録画では ICT 機器を活用する。				
引継ぎ等	授業の前後の担任・担当からの体調面等を引継ぎ者で確認を行い健康観察をする。				

令和7年度 高等部 1年(I 課程グループ) 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35				新高等 保健体育・ワークシート
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	13	①知及技 健康を保持増進するためには、健康に関して理解して自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善することが重要であることを理解できる。 ①思判表力 現代社会と健康について、課題発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考できる。 ①学・人 日常生活の食事について個人や年齢、活動量による将来の健康課題があることを理解できるようにする。	(知及技) 健康を保つためには、興味・関心をもち自分の身体の状態や仕組を理解できる。 (思判表力) 社会と健康について、健康や安全に関する決まりや取り組みを知る。 (学・人) 日常生活の中で健康に関する事柄が自分の健康や家族の健康とつながっていることを理解する。	①現代社会と健康 ・生活習慣病とその予防 ・食事と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・教科書、副読本、ワークシートを使い学習を行う。 ・ICT 機器での調べ学習や DVD の視聴により学習を深める。 ・実践的(体のサイズを測定する等)な活動や体験的な活動を通してリアルに自己の身体の仕組みを理解する。
2 学期	15	②知及技 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。 ②思判表力 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。 ②学・人 自分や他者の健康やそれを支える環境づくりに関心をもてるようにするとともに、健康に関する課題を解決する学習活動を積極的に行うようにする。	(知・技) 健康の成り立ちや考え方の変化を教科書や調べ学習で自分や家族の健康について知る。 (思判表) 「自分の身体」のサイズの変化や成長の変化を通して自分の身体の状態や管理していく方法、疾病の予防を理解する。 (主学) 自分の食事と健康のつながりや社会における食生活の課題を理解する。	② 健康を支える環境づくり ・教科書、副読本、ワークシートを使い学習を行う。 ・ICT 機器での調べ学習や DVD の視聴により学習を深める。

3 学 期	7	③知及技 事故等の発生には人的要因及び環境要因が関わることを踏まえ、個人の取組に加えて社会的な取組が求められることを理解できるようにする。 ③思判表力 安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現できるようにする。 ③学・人 交通事故などの事故の防止には周囲の環境などの把握や適切な行動が必要であること、個人が心肺蘇生法を含む応急手当の技能を身に付けることなどが必要であることを理解できるようにする。	(知・技) 事故の要因等を知り、適切な行動選択や実習等を通して応急手当の方法を身につけることができる。 (思判表) 交通事故に関連した社会でのきまりや取組みを知る。 (主学) 応急処置や心肺蘇生の方法や技能を身につけることの大切さを理解する。	③安全な社会生活 ・事故の現状と発生要因 ・心肺蘇生法	・教科書、副読本、ワークシートを使い学習を行う。 ・ICT 機器での調べ学習や DVD の視聴により学習を深める。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材
4／140		1 学年			Amity English Communication I
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめ、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けることができる。 (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、伝え合うことができる基礎的な力を身に付けることができる。 (学・人)外国語の背景にある文化についての理解をすすめ、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) be 動詞・一般動詞の現在形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) be 動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) be 動詞・一般動詞の現在形を用いて、お気に入りの場所について、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめ、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	The Beautiful Scenery be 動詞・一般動詞の現在形	質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ お気に入りの場所についてやり取りしたり、まとめたものを発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌
	13	(知及技) be 動詞・一般動詞の過去形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) be 動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) be 動詞・一般動詞の過去形を用いて、日常生活について、考えや気持ちを話して伝えることができる。。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめ、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	My Best Friend 進行形／助動詞	質問する、理由を述べる、説明する、感謝する 日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌

	13	(知及技) 進行形や助動詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けてることができる。 (思判表力) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 進行形や助動詞を用いて、提示された写真について、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Love for Dance 進行形／助動詞	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する／学校での学習や活動 コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌
	13	(知及技) 不定詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 不定詞を用いて、好きな動物について、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Endangered Species 不定詞	質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ、描写する 動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌
2 学期	12	(知及技) 動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 (思判表力) 動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。 (学・人) 動名詞を用いて、健康に関することや空いた時間について、	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすす	The History of Chocolate 動名詞	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、推論する、仮定する 健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする

	て、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。		る。 コミュニケーション (やりとり) 活動 英文法の歌
12	(知及技) 比較を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 比較を用いて、学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Our School 比較(原級・比較級・最上級)	質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する／学校での学習や活動 好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。 コミュニケーション (やりとり) 活動 英文法の歌
12	(知及技) 買物の表現を理解し、やり取りする技能を身に付けている。 (思判表力) 買物の場面で、考えや気持ちを話して伝えている。 (学・人) 買物の場面で、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	COMMUNICATE+ 1	質問する、説明する、提案する、承諾する、望む、依頼する、助言する、話題を発展させる／買物 買物の場面で、客と店員とのやり取りをする。 販売学習を通した活動
12	(知及技) 現在完了を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 現在完了を用いて、セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 現在完了を用いて、セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Serendipity 現在完了	質問する、理由を述べる、説明する、報告する相手の生活面や経験などについてやり取りしたり、セレンディピティについてまとめて発表したりする。 コミュニケーション (やりとり) 活動 英文法の歌

			る態度を身に付けている。		
	7	(知及技) 受動態を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 受動態を用いて、だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Sapeurs 受動態	質問する、理由を述べる、感謝する、褒める、説明する 服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌
	7	(知及技) 分詞の形容詞的用法を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 分詞の形容詞的用法を用いて、好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Special Makeup Effects 分詞の形容詞的用法	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、賛成する／テレビや映画、動画、ラジオなどを観たり、聞いたりすること 好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動 英文法の歌
3 学期	7	(知及技) 関係代名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けることができる。 (思判表力) 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 関係代名詞を用いて、好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	Clean Water 関係代名詞	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、話題を発展させる、共感する、驚く 好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。 コミュニケーション（やりとり）活動

					英文法の歌
	7	(知及技) 道案内の表現を理解し、やり取りする技能を身に付けることができる。 (思判表力) 道案内の場面で、考えや気持ちを話して伝えることができる。 (学・人) 道案内の場面で、考えや気持ちを話して伝えることができる。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	COMMUNICATE+ 2	質問する，説明する，感謝する 道案内をする。
	7	(知及技) さまざまな語彙や表現を理解し，絵本を読み取る技能を身に付けている。 (思判表力) 絵本の概要や要点を読み取っている。 (学・人) 絵本の概要や要点を読み取ろうとしている。	(知及技) 音声や語彙、表現、言語の働きなどについて理解をすすめる、これらの知識を、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けている。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、適切に表現したり伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 外国語の背景にある文化についての理解をすすめる、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	tupera tupera	本，新聞，雑誌などを読むこと 絵本の内容やおもしろかった点などについて，やり取りする。
	留意点 引継ぎ等				

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常会話の基礎的なフレーズを聞く・話すことを中心として読む・書くことにも慣れ親しむと同時にコミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けることができる。 (思判表力) 日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして自分の考えや気持ちを伝え合う基礎的な力を身に付けることができる。 (学・人)日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技)自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	自己紹介	I'm from (Shizuoka). I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). My birthday is (August 19th). My nickname is (Ken). What [colors / subjects / fruits / sports / animals] do you like? What is your favorite [color / subject / fruit / sport / animal]? When is your birthday?
	3	(知及技)日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	日本の文化	Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). What [food / games] do you have in Japan? We have [soba / fukuwarai]. It's [delicious / fun]. You can enjoy [rakugo / hanami / tempura].

3	(知及技)「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	人物紹介	I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He/ She] is [famous / great].
	(知及技)地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	自分たちの町・地域	We have / don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping / swimming]. I want a [library / park]. (Sakura) is nice
	(知及技)夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	夏休みの思い出	I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].

3 学 期	5	(知及技) 国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。 (思判表力) オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	オリ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク	What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at (basketball)? Yes, I am. / No, I'm not
	5	(知及技) 学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	学 校 生 活 ・ 思 い 出	What's your best memory? My best memory is (sports day). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].
	4	(知及技) 将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	将 来 の 夢 ・ 職 業	What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.
	3	(知及技) 学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) 学校行事などについて	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。	学 校 生 活	I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to

		伝え合ったり，中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。 (学・人)他者に配慮しながら，学校生活について伝え合おうとする	(思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。		enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1学年（I 課程）情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		1 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)効果的なコミュニケーションとコンピュータやデータの活用について知り、技能を身につけ、情報社会の関わりについて知る。 (思判表力)課題を発見し情報と結び付け、解決に向けて情報と情報技術を効果的に用いる方法を知る。 (学・人)情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)効果的なコンピュータやデータの活用方法を知る。 (思判表力)課題解決に向けて情報を収集する方法を知る。 (学・人)身近にある情報や情報技術に関わろうとすることができる。	(知・技)情報の基本的な用途、操作方法を知り、活用しようとしている。 (思・判・表)情報を収集し問題を解決する方法について知ろうとしている。 (主学)近にある情報や情報技術に関わろうとしている。	情報社会の問題解決	・情報を活用しよう iPad やデスクトップPCを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを学習し、情報に関する基礎知識について学ぶ。 ・情報モラルを身につけよう iPad やデスクトップPCなどを利用する上で必要なルールやマナーについて知る。
2 学期	14	(知及技)効果的なコミュニケーション方法について知る。 (思判表力)課題解決に向けて情報と情報技術を活用する方法を知る。 (学・人)情報技術を適切に活用しようすることができる。	(知・技)コミュニケーション手段の基本的な特徴について知ろうとしている。 (思・判・表)身近なメディアとコミュニケーション手段との関係を知ることができる。 (主学)情報技術を適切に活用しようとしている。	コミュニケーションと情報デザイン	・コミュニケーション手段の変化について知る。 ・iPad を利用した情報をわかりやすく伝えるための工夫や方法を身につける。
3 学期	9	(知及技)情報技術を身に付け情報と情報社会の関わりについて知る。 (思判表力)課題解決方法について自ら考える。 (学・人)情報社会に参画しようすることができる。	(知・技)情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティについて知ろうとしている。 (思・判・表)情報セキュリティについて基本的な考え方を知ろうとしている。 (主学)情報社会に参画しようとしている。	情報通信ネットワークとデータの活用	・iPad やデスクトップPCでの通信方法について学ぶ ・パスワードの必要性や作成方法について知る。
留意点 引継ぎ等		・実生活と教科の学習を関連付けた教材の工夫。			

令和7年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2 単位 ／ 7 0		1 ～ 3 学年			『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。(高・2段階) (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができる。(高・2段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高・1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2 6	(知及技) 相手の目を見てはなしたり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる (思判表力)話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。 (学・人)幅広く読書をし、他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 相手の目を見て話したり聞いたりしている。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、話し手の内容を注意して聞き、適切に理解している。 (主学) 図書館の様々な本に触れ、興味を持とうとしている。他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・オリエンテーション ・図書館オリエンテーション ・自己紹介・他己紹介(インタビュー)をしよう	・1年間の授業内容、図書館の利用方法を確認する。 ・自己、他己紹介に必要な内容をインタビューし、まとめ、発表する。
		(知及技) 文章を読んで、作者の考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 本文の言葉(「誰が、何を、どうした」等)を根拠に作者の考えやそれを支える理由について答えている。 (思・判・表)文「読むこと」において、文章を読んで自分の感想を言葉で表現している。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・物語・説明文・詩を読む ・平和について考えよう	・物語、説明文を読み、内容を理解する。 ・平和に関する作品鑑賞。 ・絵本の読み聞かせ(他学部交流)
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解することができる。 (思判表力)相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文章を整えることができる。 (学・人)他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 相手や場面によって適切な敬語を理解し、使っている。 (思・判・表)「書くこと」において、間違いを正したり、お互いに文章を読み合ったりして、表現を確認、文章を整えている。 (主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・敬語の使い方(就業体験、販売会に向けて) ・手紙の書き方	・敬語(丁寧語、尊敬語、謙譲語)の使い方や電話のかけ方、メモの取り方を学び、実践する。 ・履歴書を書く。 ・お礼状を書く。
2 学期	3 0	(知及技) 相手の目を見てはなしたり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人)他者と自分の思いや考	(知・技) 相手の目を見て話したり聞いたりしている。 (思・判・表)「書くこと」において、発表する内容の目的を意識し、内容をまとめ、適切に伝えている。	・夏休みの思い出 ・わかりやすく書く、伝えよう ・年賀状の書き方	・夏休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。 ・自分の「好きなもの、おもしろいもの」を考え、説明をまとめ、ICT機器を使って発表する。 ・年賀状を書く。

		えを伝え合おうとする態度を養う。	(主学)他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。		
		(知及技) 親しみやすい古文の文章を音読し、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 音読を通して、描かれた情景や作者の気持ちを具体的に想像し、表現することができる。 (学・人) 多くの作品に触れ、読書に親しむ態度を育てる。	(知・技) 古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品の時代背景や古典特有のリズムをもとに、作者の気持ちを想像し、表現している。 (主学) 時代の異なる様々な文体や作品に触れ、親しもうとしている。	・古典文学や沖縄の文芸に親しむ ・本に親しむ	・古典文学や郷土の古典芸能(組踊、琉歌)を学ぶ。 ・図書館の本を活用した学習活動や読書標語創作を行う。 ・絵本の読み聞かせ(他学部交流)
3 学 期	1 4	(知及技) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧や文字の大きさ、配列などに注意して書くことができる。 (思判表力) 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 文字の位置や行間に注意して書いている。 (思・判・表) 「書くこと」において、今年の目標を決め、それに合う言葉を毛筆で表現している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・冬休みの思い出 ・書初め(新年の抱負)	・冬休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。 ・毛筆で今年の目標を書く。
		(知及技) 短歌や俳句独特のリズムや言葉の響き、技法に親しむことができる。 (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。 (学・人) 多くの作品に触れ、短歌や俳句に親しむ態度を育てる。	(知・技) 古典特有のリズムに親しみ暗唱や音読をしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、作品の時代背景や表現技法をもとに、作者の気持ちを想像している。 (主学) 様々な作品に触れ、短歌や俳句に親しむことができる。	・百人一首 ・短歌、俳句	・百人一首(坊主めくり、散らし取り、競技かるた) ・短歌、俳句の鑑賞、創作
		(知及技) 日常よく使われる敬語を理解することができる。 (思判表力) 相手や目的を意識して、敬語を使って話すことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 敬体と常体があることを理解している。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、相手や場面によって適切な敬語を選択し、話している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・お世話になった先生や先輩に感謝の手紙を書こう	・感謝の手紙を書く。
		(知及技) 考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学・人) 他者と自分の思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 本文の言葉(「誰が、何を、どうした」等)を根拠に作者の考えやそれを支える理由について答えている。 (思・判・表) 「読むこと」において、文章を読んで自分の感想を言葉で表現している。 (主学) 他者と自分の考えを伝えるなど積極的に関わろうとしている。	・いろいろな情報の読解 ・1年間のまとめ	・生活に関わる読み物から必要な情報を得、知識を活用する。 ・1年間の学習を振り返る。
		留意点 引継ぎ等	・通年を通して、小学校中学年から中学校程度の漢字の読み書きを学習する。		

令和7年度 高等部 1～3年（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者		教科書／副教材	
35						「ひとりだちするための トラブル対策」改訂 版	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度							
年間目標		(知識・技能) 社会生活に必要な事柄に関して様々な資料を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。(高・2段階) (思考・判断・表現) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会へのかかわり方を複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を身に付ける。(高・2段階) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、互いに協力してよりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身に付ける。(高・2段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	帯	活動
1学期	41	(知識・技能) 我が国の産業や工業生産について様々な資料を通して理解し、これらが国民生活を向上させていることを理解する。 (思考・判断・表現) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化的遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を捉え、表現する。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、互いに協力してよりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身に付ける。	(知・技) 社会的事象に関する既知の情報を適切にまとめている。 (思・判・表) 社会的事象に関する既知の知識を表現している。 (主学) 社会的事象に関する既知・未知の知識を関連付けている。	オリエンテーション 【我が国の歴史】 【我が国の産業と情報との関わり】 ・究極の〇〇を作ろう 【公共施設の役割と制度】 ・校内外の防災施設について知ろう ・行政機関の働きについて	・一年間の授業の流れ ・食品に関する歴史、流通についてのプロジェクト学習 ・行政機関見学(市役所、裁判所等)	給食残渣処理	
2学期	16	(知及技) 外国の様子や社会生活について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (思判表力) 法律やマナーについて、自分の生活と結び付けて考え、表現する力を身に付ける。 (学・人) 選挙について、よりよいあり方を考え自身の生活において主体的に活用しようとする力を身につける。	(知・技) 外国の様子や社会生活について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。 (思・判・表) 法律やマナーについて、自分の生活と結び付けて考え、表現する力を身に付けている。 (主学) 選挙について、よりよいあり方を考え自身の生活において主体的に活用しようとする力を身につけている。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界と日本の役割 ・SDGsについての学び 【社会参加ときまり】 ・身近な暮らしのルールやマナー ・選挙と私たち ・法律、人との関わり方	・JICA 出前学習等 ・給食残食プロジェクト学習 ・自分の行動で世界を変えよう ・身近な暮らしのルールやマナー ・行政機関見学(市議会)		
3学期	7	(知及技) 社会的事象に関する情報を適切にまとめる技能を身に付ける。 (思判表力) 社会的事象に関する知識を表現する力を身に付ける。 (学・人) 社会的事象に関する情報や知識を今後の生活と関連付けようとする力を身につける。	(知及技) 社会的事象に関する情報を適切にまとめている。 (思判表力) 社会的事象に関する知識を表現している。 (学・人) 社会的事象に関する情報や知識を今後の生活と関連付けている。	【我が国の国土】 一年間の振り返り	・一年間の振り返り ・今後に向けての展望		
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習、交流学习と校外学習の関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・1、2学年は、令和7年度の計画に「地域や我が国の国土の地理的環境、歴史や伝統と文化および外国の様子」を盛り込む(2、3学年は、令和5年度で取り扱い済み)。					

令和7年度 高等部 II 課程 A 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 7 0		1～3 学年		AB グループ 数学★★★★★ C グループ 数学★★★★★ 共通：ひとりだちするための 算数・数学
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を理解する (思判表力)数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見出したりする (学・人)数学で学んだことを生活に活かそうとする		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技)数量や図形などについての既習事項を振り返る (思判表力)四則演算について振り返る (学・人)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につける	(知・技)数量や図形などについての既習事項を解くことができる (思・判・表)四則演算を理解することができる (主学)既習事項の定着に向けて、自主的に取り組む姿勢を身につけることができる	・オリエンテーション ・既習事項の復習
	3 5	(知及技)数量について数学的に表現・処理する (思判表力)数量の関係から適切な式を立てる (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)数量について数学的に表現・処理する姿勢が身につけている (思・判・表)数量の関係から適切な式を立てることができる (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・四則演算 ・文章題 ・お金 ・時間 ・長さ ・割合
2 学期	1 5	(知及技)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察する (思判表力)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解する (学・人)授業で学んだことを身近な図形へ関連付ける	(知・技)図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察している (思・判・表)図形の名称や性質、大きさが決まる要素を理解することができる (主学)授業で学んだことを身近な図形へ関連付けている	・三角形と四角形 ・多角形 ・合同 ・相似 ・作図
	1 5	(知及技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る (思判表力)目的に応じてデータを集めてグラフで表す (学・人)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につける	(知・技)量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取ることができる (思・判・表)目的に応じてデータを集めてグラフで表している (主学)生活の中でどのような場面で活用できるか考える姿勢を身につけている	・棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ ・帯グラフ
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習と関連付けて指導する。 ・学んでいることが生活につながっていることを実感できる題材を選ぶ。		

令和7年度 高等部1～3学年 II課程A 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35		1～3 学年		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技) 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 (思判表力) 自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人) 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 1 年間の授業の流れをつかむ。 (思判表力) 理科の知識を表現できる。 (学・人) 知っている知識を生活に生かすことができる。	(知・技) 授業の流れを理解している。 (思・判・表) 理科の知識を表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	オリエンテーションと知識の確認 ・1 年間の授業の流れ ・理科の知識の定着確認
	10	(知及技) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思判表力) 天気の変化の仕方について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) 天気は雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思・判・表) 天気の変化の仕方について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	天気と気温と台風 ・気温を計ってみよう ・天気図をみてみよう ・なぜ台風のととき風が強いのか
2 学期	10	(知及技) 生き物は色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思判表力) 自然や生き物について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人) 自然や生き物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) 生き物は色、形、大きさなど、違いがあることを理解している。 (思・判・表) 自然や生き物について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	八重山の自然と生き物 ・校庭を散策しよう ・学校にいる生き物を探してみよう ・八重山（沖縄）の天然記念物

3 学期	10	(知及技) 水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。 (思判表力) 水の性質について、差異点や共通点などを見出し、表現するなどして問題解決している。 (学・人) 水の体積や状態の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	(知・技) 水は温度によって水蒸気や氷に変わることを理解している。 (思・判・表) 水の性質について、差異点や共通点を探し、表現している。 (主学) 知識を生活に生かそうとしている。	温度と水のすがた	・水を冷やしてみよう ・水を温めてみよう ・氷を触ってみよう（温度を感じてみよう）
留意点 引継ぎ等	自然の事物・事象をできるだけ見せる（体験させる）ことに努めるが、できない場合には ICT 機器を効果的に活用していく。				

令和7年度高等部1～3学年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		1～3学年			☆本 mousal
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について知り、音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 (思判表力)音楽を自分なりの言葉で表現し、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人)音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に対する感性を育み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌うことができる。 (思判表力)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人)仲間の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる	(知・技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌っている。 (思・判・表)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫している。 (主学)仲間の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・校歌 ・Believe ・島人ぬ宝 ・翼をください	・発声時に気をつけることを、パワーポイントなどで視覚的に分かりやすく説明しながら進める。 ・新年度を迎え、新しい仲間と、明るく元気に声を出すようにする。
		(知及技) 音符の書き方や読み方など、基礎的な楽典を理解することができる。 (思判表力)楽器の基本的な奏法を意識して音色や響きに気をつけて演奏することができる。 (学・人)他者の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏できるようにする。	(知・技) 音符の書き方や読み方など、基礎的な楽典を理解できる。 (思・判・表)楽器の基本的な奏法を意識して音色や響きに気をつけて演奏している。 (主学)他者の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏している。	器楽 ・ボディパーカッション ・キーボード	・打楽器等を使用して、楽曲の雰囲気気をリズムで表現する。 ・三和音を取り入れた和音の響きを表現する。
		(知及技) リズムの特徴や曲想を感じ取り、体の動かし方について理解できるようにする。 (思判表力)音楽やリズムを聴き、様々な動きを組み合わせさせて表現することができる。 (学・人)友だちと動きを合わせて表現することができる。	(知・技) リズムの特徴や曲想を感じ取り体を動かしている。 (思・判・表)音楽やリズムを聴き、様々な動きを組み合わせさせて表現している。 (主学)友だちと動きを合わせて表現している。	身体表現 ・ボディパーカッション ・手話ソング ・いのちのリレー	・歌詞の内容を手話で表現する。 ・体の色々な部位をたたきながら曲に合わせてリズムを表現する。 ・打楽器等を使用して、楽曲の雰囲気気をリズムで表現する。

		(知及技)鑑賞についての知識を得たり生かしたりし、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力)曲想の雰囲気を感じとり、リズムや速度、旋律の特徴について理解できるようにする。 (学・人)鑑賞に関する知識を得たり生かしたりし、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技)鑑賞についての知識を得たり生かしたりし、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解している。 (主学)鑑賞に関する知識を得たり生かしたりし、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を用意し、動画などで視覚的に分かりやすく説明しながら鑑賞する。
2 学 期	30	(知及技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌うことができる。 (思判表力)歌詞の内容と曲想との関わりを考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人)お互いの歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌うことができる。	(知・技) 範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌っている。 (思・判・表)歌詞の内容と曲想との関わりを考えながら歌い方を工夫している。 (主学)お互いの歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・赤とんぼ ・もみじ ・	・発声時に気をつけることを、実演しながら分かりやすく説明して発声する。 ・歌詞の内容を確認し、曲想を感じながら歌えるようにする。
		(知及技) 音楽の構造や、多様な楽器の音色と全体の響きを感じながら演奏できるようにする。 (思判表力)曲の雰囲気に合った表現を工夫し、演奏できるようにする。 (学・人)他者の楽器の音や伴奏を聴いてリズムや速度を合わせて演奏できるようにする。	(知・技) 音楽の構造や、多様な楽器の音色と全体の響きを感じながら演奏している。 (思・判・表)曲の雰囲気に合った表現を工夫し、演奏している。 (主学)他者の楽器の音や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏しようとしている。	器楽 ・キーボード ・ウクレレ ・アンサンブル	・ミニキーボードを使用して、簡単な練習曲を演奏する。 ・指番号や運指の説明をし、指をスムーズに動かして演奏できるようにする。
		(知及技)鑑賞についての知識を生かしながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解できるようにする。 (学・人)鑑賞に関する知識を生かしながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技)鑑賞についての知識を生かしながら、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表)曲想の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解している。 (主学)鑑賞に関する知識を生かしながら、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など	・様々なジャンルの楽曲を用意し、パワーポイントや動画などで視覚的に分かりやすく説明しながら鑑賞する。

3 学期	1 4	(知及技)範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌うことができる。 (思判表力)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫することができる。 (学・人)仲間の歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌うことができる。	(知・技)範唱を聴き、呼吸や発声の仕方に気をつけて無理のない歌い方で歌っている。 (思・判・表)曲想や歌詞の内容との関わりを考えながら歌い方を工夫している。 (主学)仲間の歌声や伴奏を聴いて歌声を合わせて歌っている。	歌唱 ・発声練習 ・卒業のうた	・発声時に気をつけることを、パワーポイントなどで視覚的に分かりやすく説明しながら発声する。 ・歌詞の内容を確認しながら、曲想を感じながら歌えるようにする。
		(知及技)鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏のよさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。 (思判表力)曲の雰囲気を感じとり、リズムや速度、旋律の特徴について理解できるようにする。 (学・人)鑑賞に関する知識を生かし、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴けるようにする。	(知・技)鑑賞についての知識を得ながら、楽曲や演奏の良さを自分なりに味わって聴いている。 (思・判・表)曲の雰囲気を感じ取り、リズムや速度、旋律の特徴について理解している。 (主学)鑑賞に関する知識を生かし、生活や社会における音楽の役割について考えながら聴こうとしている。	鑑賞 ・クラシック音楽 ・邦楽、洋楽など ・お気に入りソングの紹介	・様々なジャンルの楽曲を用意する。 ・自分の好きな曲を仲間の前で発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1～3学年（Ⅱ課程A） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／7 0		1～3学年		なし
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技)表現するための技術や知識を身につけることができる。 (思判表力)主題を自ら生成し、色や形、素材を選択することができる。 (学・人)作品を完成させるために、試行錯誤を繰り返しながら取り組むことができる。		
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) はさみとのりなどの道具を使って、手の輪郭を意識しながら折り紙を切って貼ることができる。 (思判表力) 担当する職員、級友を知り、美術室のルールを確認することができる。 (学・人) 美術に興味を持ち、意欲的に制作することができる。	(知・技) 道具の特性を理解し、手の輪郭を意識しながら切ることができる。 (思・判・表) 美術室のルールについて、なぜ存在するのかを考える事ができる。 (主学) 試行錯誤しながら、作品を完成に向けて制作することができる。	【デザイン】 ・美術への意気込みを手型で表現する。 ・オリエンテーション&手型制作
	10	(知及技) 人体を構成する様々な要素を理解することができる。 (思判表力) 人体の骨格、関節、筋肉を意識しながら、人体を制作することができる。 (学・人) 粘土をとったり、つけたいと試行錯誤することができる。	(知・技) 人体を構成する様々な要素を理解することができる。 (思・判・表) 人体の骨格、関節、筋肉を意識しながら、人体を制作することができる。 (主学) 粘土をとったり、つけたいと試行錯誤することができる。	【彫刻/鑑賞】 ・粘土と針金を使っての人体彫刻表現 ・人体の三要素について知る ・制作するポーズをとり、級友に撮影してもらい、アプリを使って、関節の位置を確認し、アイディアスケッチをし、彫刻について構想を練る。 ・関節、骨格の位置を意識しながら粘土をつけて制作する。 ・自分の作品について発表し、級友の制作した作品を鑑賞することができる。
	2	(知及技) 作家や作品を知ることができる。 (思判表力) 作品等から自分なりに何かを感じることができる。 (学・人) 自他の感じたことを共有することができる。	(知・技) 作家や作品を知ることができる。 (思・判・表) 作品等から自分なりに何かを感じることができる。 (主学) 自他の感じたことを共有することができる。	【鑑賞】 ・びじゅチューンを活用して、作家や作品を知る ・ワークシート ・発表
	4	(知及技) クラフトカッターナイフの使い方を理解し、意図に合った彫り方をすることができる。 (思判表力) 自分の好きなものなどから発想し、デザインすることができる。 (学・人) 積極的に試すことができる。	(知・技) クラフトカッターナイフの使い方を理解し、意図に合った彫り方をすることができる。 (思・判・表) 自分の好きなものなどから発想し、デザインできている。 (主学) 試行錯誤することができる。	【デザイン/彫刻】 ・自分のマークを作ろう ・年間通して使用する自分マーク(サイン)のデザイン ・消しゴムで印鑑づくり
2 学期	14	(知及技) 世界中の仮面に触れ、多種多様な形があることを知る事ができる。	(知・技) 世界中の仮面に触れ、多種多様な形があることを知る事ができている。	【彫刻/鑑賞】 ・妖怪になってみよう ・世界中にある仮面を鑑賞し、多種多様な形があることを知り、身近にある不思議からヒントを得て、

		(思判表力) 身近にある不思議を掘り起こし、その不思議から仮面を考え、仮面にあった色・パーツを選び、制作することができる。 (学・人) 自分の仮面や他者の仮面に興味を持つ事ができる。	(思・判・表) 身近にある不思議を掘り起こし、その不思議から仮面を考え、仮面にあった色・パーツを選び、制作することができる。 (主学) 自分の仮面や他者の仮面に興味を持つ事ができる。		自分なりの妖怪を仮面という形で制作することができる。
	4	(知及技) 文字の種類や形から受けるイメージの違いを理解することができる。 (思判表力) 校内にある文字を探し出し、文字の形の面白さに気づき、ワークシートにまとめることができる。 (学・人) 日頃、何気なく使っている文字に興味を持つことができる。	(知・技) 文字の種類や形から受けるイメージの違いを理解することができる。 (思・判・表) 校内にある文字を探し出し、文字の形の面白さに気づき、ワークシートにまとめることができる。 (主学) 日頃、何気なく使っている文字に興味を持つことができる。	【デザイン/鑑賞】 ・タイポグラフィー	・文字の形の面白さに気づく ・作成した文字で作品を制作する。
	1 2	(知及技) 陶土の特性を理解し、それに沿った扱いができる。 (思判表力) 表現方法によって、土の表情が変化することを理解し、様々な道具、方法を使う事が出来る。 (学・人) 積極的に試すことができる。	(知・技) 陶土の特性を理解し、それに沿った扱いをし、制作することができる。 (思・判・表) 表現方法によって、土の表情が変化することを理解し、様々な道具、方法を使う事が出来る。 (主学) 積極的に試すことができる。	【陶芸/鑑賞】 ・陶板づくり	・陶板の鑑賞 ・アイディアスケッチ ・粘土で成形及び施釉 ・焼成 ・鑑賞
3 学期	1 0	(知及技) 2025 年のやりたいことや夢の写真、画像を探しだし、ソフトを使って編集することができる。 (思判表力) 自分が何をなしとげたいのか、どんな夢を持っているのかをマインドマップを利用し、キーワードを挙げる事ができる。 (学・人) ソフトの扱い方について、質問することができる。	(知・技) 2025 年のやりたいことや夢の写真、画像を探しだし、ソフトを使って編集することができる。 (思・判・表) 自分が何をなしとげたいのか、どんな夢を持っているのかをマインドマップを利用し、キーワードを挙げる事ができる。 (主学) ソフトの扱い方について、質問することができる。	【デザイン/鑑賞】 ・ヴィジョンボード	・2025 年の目標をソフトを使い、可視化する。
	4	(知及技) 素材や道具の特生を理解することができる。 (思判表力) 絵具の薄いところ、濃いところを認識し、手の力のいれ具合を調節しながら、色の塗り残しなく、塗ることができる。 (学・人) 積	(知・技) 素材や道具の特生を理解することができる。 (思・判・表) 絵具の薄いところ、濃いところを認識し、手の力のいれ具合を調節しながら、色の塗り残しなく、塗ることができる。 (主学)	【絵画/デザイン/鑑賞】 ・ダンボール DE あそぼう	・身近な素材である「ダンボール」を使って、平面と立体のあわいのような作品作りをする。

		極的に試することができる。	試行錯誤することができている。		
留意点 引継ぎ等	・B鑑賞については、表現と鑑賞を一体化として行う。活動内容には記載しないが、授業ごとの例示や生徒同士の鑑賞活動などを行う。 ・授業内での調べ学習、メディア表現ではタブレットなどのデジタル端末を活用する。				

令和7年度 高等部1～3学年（Ⅱ課程A）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105		1～3 学年		視聴覚教材
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	29	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断することができる。 (学・人) 見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を身につけている。 (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	・体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率よく組み合わせて行う。 ・5分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わいその特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能が身についている (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	しっぽとり鬼ごっこ ボール運び鬼 フラッグフットボール ボール運び鬼 ・空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりする。 ・少人数で連携し相手をかわしたりする。 ・逃げる相手を追いかけて、タグを取ったりする。 フラッグフットボール ボール操作 ・マークされていない味方にパスを出すこと。 ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すこと。 ボールを持たないときの動き ・パスを受ける為にゴール前の空いている場所に動くこと

		(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わいその特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えること。 (学・人) 水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能が身についている。 (思・判・表) 課題を発見し仲間と思考し判断したことを伝えている。 (主学) きまりやマナーを守り、仲間と協力し自主的に運動をしようとしている。	・水泳	・手と足の動き呼吸のバランスを取る ・浮く・進む→歩行, プル, キック ・呼吸 (顔つけ) クロール (速く泳ぐ) ・一定のリズムで力強いキックができる。 ・腕全体で水をキャッチし S 字や I 字を描くようにみずをかくことができる 平泳ぎ (長く泳ぐ) ・長く伸びるキックができる。 ・偏り前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。 背泳ぎ・バタフライ バランスをとり泳ぐこと。
！ 2 学期		(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方がわかり、基本動作や基本技のポイントを覚えて技を本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。 (思判表力) 武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。 (学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したりし、最後まで楽しく運動をすること。	((知・技) 技の名称を覚え、立ち方、受け、突き、蹴りを等の技のポイントをおさえて技を出すことができる。 (思・判・表) 掲示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に仲間の課題や出来映決のための活動を考えたり、えを伝えることができる。 (主学) きまりを守り、健康・安全に留意して学習に取り組むことができる。	・空手	・基本的な立ち方、受け方、突き方蹴りを学習し普及型Ⅰを覚え披露する。
2 学期	5	(知及技) リズムに乗って、自分なりの表現や動きをすることができる。 (思判表力) 仲間と交流しながら踊ることの楽しさを感じられる。 (学・人) 授業の決まりや種目のルールを守り活動ができる	(知・技) 自由に身体を動かしながらテンポや曲調の違いを知り、曲に合わせて踊りをしていく。 (思・判・表) 積極的に踊ったり、友だちと創意工夫している。 (主学) 友達の活動の補助を行い、場の安全に留意している。	・ダンス	・身近な曲に乗って身体を動かす。 ・見たことや経験したことのある動きやジェスチャーを真似してゲーム化する。 ・表現、創作ダンス、リズムダンス、伝統的な踊り (エイサー) ・発表会 ICT 機器の活用。

	20	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけることができる。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすること。	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主・学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・陸上競技(短距離)	・短距離走クラウチングスタートの行い方、自分に合ったピッチとストライドを探そう。 ・滑らかな動きで速く走ることができる。 ・力みのないフォームで走ることができる。 ・リレー バトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。 ・長距離走 自分の体力や技能にあったペースを維持して走ろう
3 学 期		(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけることができる。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすること。	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めると共に、目的に応じた技能を身につけている。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主・学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・陸上競技(長距離)	長距離走(1～2 km) 時間走(10分)
	16	(知・技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。	(知・技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主・学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動しようとしている。	・球技	・サッカー ・パスを受けるため。ゴール前の空いている場所に動くことができる。 ・得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる (ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付け、ゲームを行うこと。) ・風船バレーボール ・ソフトバレーボール ・相手型のコートや開いた場所にボールを打ち返すこと。 ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと
留意点 引継ぎ等		授業内での調べ学習、メディア表現、録画では ICT 機器を活用する。 授業の前後の担任・担当からの体調面等を引継ぎ者で確認を行い健康観察をする。			

令和7年度 高等部1・2学年 II 課程 A 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		1・2学年			くらしに役立つ家庭 ワークシート
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 (思判表力) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したこと根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題解決する力を養う。 (学・人) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
月	学 数 時	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	16	(知及技) 人の一生について様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報を収集したり、意思決定していく重要性について理解する。 (思判表力) ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について主体的に考え、問題点をあげ課題を解決しようとする力を身につけている。 (学・人) 生涯の生活設計や消費者行動の意思決定について関心を持ち、課題の解決や自分、家族、地域生活の充実向上を図るために実践しようとする力を身につける。	(知・技)・人の様々な生き方や家庭の役割について自分の生き方を考えることの大切さを理解している。 (思・判・表)・さまざまな家族の状況を知り、家庭生活の問題について理解し、表現している。 (主学)・消費者に必要な責任ある態度を学び、高齢者の体の特徴を知り、配慮する点を考え、身につけようとしている。	・オリエンテーション「家庭とくらし」 ・家庭の役割 ・高齢者を支える介護について 「ライフスタイルと環境」 ・家庭の経済生活 ・計画的な消費生活	・家族の一員としての仕事(家事)の種類について ・高齢者の疑似体験 ・高齢者介助のポイント ・生涯の生活設計について考える
	10	(知及技) 生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識や道具、器具などの正しい使い方を身に付けている。 (思判表力) 生活に役立つ作品に集中して取り組むことができる。 (学・人) 家庭生活で必要な知識や技術を生かし、安全や衛生に気をつけて実践や実習に取り組むことができる。	(知・技)・いろいろな道具の正しい使い方を知り、安全に使用しようとしている。 (思・判・表)・作品作りを丁寧に取り組み手作りする楽しさを表現している。 (主学)・作業に見通しをもち、安全に気をつけて取り組もうとしている。	・生活に役立つ作品製作(エプロン、三角巾、カバン、布巾作り)	・自分専用の三角巾、巾着袋を作ろう。
2 学期	10	(知及び技) 沖縄の住宅の特徴について理解することができる。 (思判表力)・住宅の機能や快適性について考え、安全や環境に配慮した住生活について問題を見だし、課題解決に向けて話し、考えたことを表現することができる。 (学・人)・住生活と住環境への課題解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技)・自分の住んでいる地域の住環境について興味を持って調べ、考えようとしている。 (思・判・表)・家族との生活に場としての住居がどのように工夫されているか表現している。 (主学)・住生活に興味関心を持ち、自分する間取りや家具家電の配置について考察しながら取り組もうとしている。	住生活について ・住まいと環境 ・住まいと安全	・沖縄の住宅の特徴について(換気、採光、掃除) ・家庭内事故の種類 ・自分の理想のお部屋

	20	(知及技)・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の主な栄養素とその役割を理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。 (思判表力) 健康や環境に配慮した食生活の科学と文化について考慮し、自己や家族の食事を工夫することについて問題を見だし、課題に解決に向けて取り組むことができる。 (学・人)・食事の役割、栄養、食生活について、課題の解決に主体的に取り組む、振り返って改善し、家族のよりよい食生活を目指し、生活を工夫しようと思えることができる。	(知・技)・健康により食事を考え、食品の栄養や組み合わせの優劣を考えようとしている。 (思・判・表)・調理の楽しみや完成の喜びにより食への関心を深め、表現している。 (主学)・住居の役割を知り、自分の過ごしやすさや家の間取りを想像しよ	・食事と健康 健康な体をつくる食事 調理実習 食事マナー	・6つの食品群別摂取量の食品について ・食事作りの手順について ・食品の選び方 ・調理実習 (ほうれん草のおひたし、味噌汁、鮭のホイル焼き、カレー)
3 学期	14	(知及技)ライフステージや目的に応じた被服の機能や着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集をし、被服計画・管理に必要な技能を身につけている。 (思判表力)被服の機能や快適性について考え、健康や環境に配慮しながら問題点を見だし、課題解決に向け、実践・評価し改善方法について考え表現することができる。 (学・人)・衣生活と健康、衣生活の科学と文化について課題解決に取り組む、振り返って改善しようとする態度が身につけている。	(知・技)TPOに応じた被服の機能を理解しようとしている。 (思・判・表)衣服の種類に応じた洗濯や保管について学び適切な扱い方と表示の見方について知り表現しようとしている。 (主学)自分の体に合った既製服のサイズを知り、衣服の保管や補修までの一連の流れを学習し生活に生かそうとしている。	・衣生活について 衣服の手入れ 被服製作 ・一年間の振り返り	・衣服の洗濯について ・衣服の再利用について ・JIS(日本工業規格)について
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1～3 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常会話の基礎的なフレーズを聞く・話すことを中心として読む・書くことにも慣れ親しむと同時にコミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けることができる。 (思判表力) 日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして自分の考えや気持ちを伝え合う基礎的な力を身に付けることができる。 (学・人)日常会話の基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることができる。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ 学 期	3	(知及技)自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	自己紹介	I'm from (Shizuoka). I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). My birthday is (August 19th). My nickname is (Ken). What [colors / subjects / fruits / sports / animals] do you like? What is your favorite [color / subject / fruit / sport / animal]? When is your birthday?
	3	(知及技)日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをとおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをとおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	日本の文化	Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). What [food / games] do you have in Japan? We have [soba / fukuwarai]. It's [delicious / fun]. You can enjoy [rakugo / hanami / tempura].

3	(知及技)「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	人物紹介	I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He/ She] is [famous / great].
	(知及技)地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、地域のよさなどについて、伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	自分たちの町・地域	We have / don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping / swimming]. I want a [library / park]. (Sakura) is nice
	(知及技)夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力)夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人)他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。	(知及技)日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	夏休みの思い出	I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].

3 学 期	5	(知及技) 国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。 (思判表力) オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合う。 (学・人) 他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	オリンピック・パラリンピック	What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like (basketball). Are you good at (basketball)? Yes, I am. / No, I'm not
	5	(知及技) 学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	学校生活・思い出	What's your best memory? My best memory is (sports day). We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].
	4	(知及技) 将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 (学・人) 他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。	将来の夢・職業	What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.
	3	(知及技) 学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (思判表力) 学校行事などについて	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズを聞くこと、話すことを中心として、読むこと、書くことにも慣れ親しむと同時に、コミュニケーションゲームなどをおしてそのフレーズを身に付けている。	学校生活	I like (basketball). I want to join the (basketball team). What club do you want to join? I want to

		伝え合ったり、中 学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。 (学・人)他者に配慮しながら、学校生活について伝え合おうとする	(思判表力)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を身に付けている。 (学・人)日常会話における基礎的なフレーズの活用によるコミュニケーションゲームなどをおして、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。		enjoy (sports day). What event do you want to enjoy? I want to [study hard / read many books / make many friends].
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1～3学年(Ⅱ課程 A) 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1～3学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り，問題を解決する方法について理解し，基礎的な技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題を知り，問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 身近にある情報の基本的な特性及び基本的な用途，操作方法を知り，情報と情報技術を活用することができる。 (思判表力) 目的や状況に応じて，(思・判・表) 身情報や情報技術を身近にある情報や情報技術を活用し問題を解決する方法を考えようとしている。 考えることができる。 (学・人) 身近にある情報や情報技術(主学) 近にある情報や情報技術に関わろうとすることができる。に関わろうとしている。	(知・技) 情報の基本的な特性及び基本的な用途，操作方法を知り，情報と情報技術を活用しようとしている。 (思・判・表) 身情報や情報技術を活用し問題を解決する方法を考えようとしている。 (主学) 近にある情報や情報技術に関わろうとしている。	情報社会の問題	・iPad やデスクトップPCを活用することで，仕事や生活がよりよくなることを学習し，情報に関する基礎知識を身につける。 ・情報モラルを身につけ iPad やスマートフォンを利用する上で必要なルールやマナーについて考える。
2 学期	14	(知及技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について考えることができる。 (思判表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係について考えることができる。 (学・人) 情報技術を適切に活用しようすることができる。	(知・技) 効メディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について考えようとしている。 (思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係をかんがえようとしている。 (主学) 情報技術を適切に活用しようとしている。	コミュニケーションと情報デザイン	・コミュニケーションの形態や手段の変化について考える。 ・情報デザインの工夫 iPad やデスクトップPCを利用してわかりやすく伝えるための考え方や方法を身につける。
3 学期	9	(知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。 (思判表力) 情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。 (学・人) 情報社会に参画しようすることができる。	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティについて考えようとしている。 (思・判・表) 情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えようとしている。 (主学) 情報社会に参画しようとしている。	情報通信ネットワークとデータの活用	表計算ソフトウェアの使い方 ・iPad とデスクトップPCの両方で表計算ソフトの基本操作を知る さまざまなグラフ表現 ・数の大小や割合、変化などを目的に応じて、グラフで表現する。
留意点 引継ぎ等		・実生活と教科の学習を関連付けた教材の工夫。			

令和7年度 高等部1～3学年 II課程 A 特別の教科 道徳 年間指導計画

教科／科目	道徳	単位数／配当時数	1／35
学 年	1～3学年	担 当 者	
教 科 書			
副 教 材			

年間目標
・学校の教育活動全体を通し、それぞれの具体的な場において適切な指導を行い、明るく豊かな道徳的心情、実践意欲と態度を育てる。

期 月	時 数	指導項目・単元	ねらい・目標	評価規準
通 年	13	・オリエンテーション ・あいさつ ・礼儀、作法 ・学校生活	・自身にとっての道徳のあり方について触れ、理解しようことができる。 ・他者への親しみの気持ちを伝えることができる。 ・学校生活で期待していることを思い起こす、発表する。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを表現できる。	・他者への親しみの気持ちを伝えようとしている。 ・学校生活で期待していることを思い起こす、発表している。 ・日常生活の中で感謝の気持ちを表現しようとしている。
	15	・決まり ・健康安全 ・他者との関係 ・業務や課題の遂行	・決まりの必要性を理解し、共有する場所や物を大切にする。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動することができる。 ・他者と協調することについて考える。 ・必要な役割や与えられた課題を最後まできちんとやり遂げる。	・決まりの必要性を理解し、共有する場所や物を大切にしようとしている。 ・自分の健康に気をつけ、健全な態度で活動しようとしている。 ・他者と協調することについて考えようとしている。 ・必要な役割や与えられた課題を最後まできちんとやり遂げようとしている。
	7	・優しさ ・勤労、役割 ・整理整頓	・他者を思いやり、優しく接しようとする。 ・自身の進路を考え、働くことの大切さを知る。 ・周辺の環境を自分で整える意識を持つ。	・他者を思いやり、優しく接しようとしている。 ・自身の進路を考え、働くことの大切さを知ろうとしている。 ・周辺の環境を自分で整える意識を持っている。

令和7年度 高等部 1～3学年 職業実習(園芸) 年間指導計画

教 科 / 科 目	職 業 実 習 (園 芸)	単 位 数 / 配 当 時 数	6 単 位 / 210 時 間
学 年	1 ～ 3 学 年	担 当 者	
教 科 書	なし		
副 教 材	なし		

到達目標
・卒業後の社会参加、職業自立に向けて必要な基礎・基本的態度や知識・技能を身につける。 ・栽培学習の中で、勤労を重んじる態度を養う。 ・販売学習を通して、簡単な流通について学び、接客の方法や金銭の取り扱いを身につける。 ・個々の能力に応じた作業内容に取り組み、作業に取り組む力、創意工夫する能力、協力して作業を進める態度を身につける。

評価の観点		
a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能を身につける。(単元テスト等)	自分の役割遂行や課題、将来の生活について考え、表現する。(ふりかえり等)	他者と一緒に働くことを通して責任感を培い、勤労を重んじる態度を養う。

期 月	時 数	指導項目・単元	指導内容・活動(ねらい・目標)	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
通 年 を 通 し て 指 導 を 行 う		作業学習の心構え	・実習に必要な態度や道具の名称・使い方などを知る。		○	○	授業態度
		草花片付け	・校内環境美化で利用した草花や観葉植物を片付ける。	○		○	作業意欲態度
		用土作り	・土ふるい、用土作り(赤土、堆肥、土壌改良材等を混ぜる)を行う。	○	○	○	作業協力
		農場整備	・農場の除草と耕起をする。	○	○	○	作業協力
			・畝立てを行う。	○		○	作業意欲態度
			・元肥を施す(堆肥、化成肥料)。	○		○	作業意欲態度
		野菜の栽培	・季節野菜の播種及び定植を行う。		○		ワークシート
			・管理作業を行う。				作業意欲態度
			・収穫し、販売活動を行う。				作業協力
		観葉植物の管理	・観葉植物の挿し木や株分け、鉢替えや施肥を行う。				ワークシート
		反省と評価	・学習内容を振り返り、課題確認と観点別評価を行う。				評価シート

令和7年度 高等部 1～3学年 職業実習(家庭) 年間指導計画

教 科／科 目	職 業 実 習（家庭）	単位数／配当時数	6単 位 ／ 210時 間
学 年	1 ～ 3学年	担 当 者	
教 科 書			
副 教 材	ワークシート等		

到達目標

- 自立し社会参加に向けて職場生活に必要な基礎的・基本的知識、技能を身に付けるとともに、勤労を重んじる態度を養う。
- 実習を通して、完成の喜びを味わい、職業実習の心得や接客マナーを身につける。
- 正しい道具の扱いを身につけ、協力して作業を進める態度及び集中力・創意工夫する能力を身につける。

評価の観点

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
職業実習に必要な基礎的・基本的知識や道具、機械の扱い方を身に付ける。	職業実習を通して、目標の設定や振り返り、感想等を文章や言葉で発表することができる。	働くこと意義を理解し、勤労を重んじる態度や働く喜びを味わう。

期 月 数	時 数	指導項目・単元	指導内容・活動(ねらい・目標)	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
1 学 期	78	・オリエンテーション ・職業実習(家庭)を学ぶにあたって ・働く態度 ・手縫いの基礎 ①並縫い ②返し縫い ③ボタン付け ④まつり縫い ⑤スウェーデン刺しゅう ・ミシンの基礎 ①直線縫い ②曲線縫い ③バックミシン	・紹介カードを使って自己紹介ができる。 ・家庭班で学習することを理解する。 ・1年間の目標を設定する。 ・働く態度 ・被服製作に使う道具の種類を理解する。 ・針に糸を通し、玉結び、玉止めができる。 ・手縫いの基礎縫い(直線、曲線、ボタン付け)ができる。 ・ミシンの各部の名称と使い方が分かり、直線縫い、曲線縫いができ、布巾が縫える。 ・印に沿いまつり縫い、ミシン縫いができる。 ・通し棒を使ってマスクのゴム通しができる。 ・作品製作を通して、必要に応じて手縫い、	○ ○<			

		・販売用作品製作	・販売のための作品として、売れる事への期待感を持ち、商品であることを意識して、丁寧に製作することができる。	○		○	
		①ティッシュケースカバー ②手さげカバン ③クッションカバー ・1学期の反省と評価 (掃除、校外学習を含む) ・伝統工芸	・1学期を振り返り、発表することができる。 ・郷土の伝統工芸に慣れ親しみ関心を持つ。 ・織機を自分で使うことができる。	○		○	
2 学 期	90	①みんさー工芸館見学 ②みんさー織り実習 ・即売会商品製作 ①カバン ②コースター ③パラコードキーホルダー等 ・販売の準備と販売学習 ①お金の計算練習 ②ラベル・値札作り ③ラッピング ④接客用語	・販売のための作品として、売れる事への期待感を持ち、商品であることを意識して、丁寧に製作することができる。 ・接客ができる。 ・働くことについて考える。 ・販売を通して接客を体験的に学ぶことができる。 ・2学期を振り返り、発表することができる。 ・販売のための作品として、売れる事への期待感を持ち、商品であることを意識して、丁寧に製作することができる。		○		・授業態度 ・見学のマナー ・製作品
3 学 期	42	・2学期の反省と評価 (掃除、校外学習を含む) ・校内販売の準備と販売学習 ①お金の計算練習 ②ラベル・値札作り ③ラッピング ④接客用語 ・自主製作(袋等) ・1年間の反省と評価(清掃、校外学習を含む)	待感を持ち、商品であることを意識して、丁寧に製作することができる。 ・働くことについて考える。 ・販売を通して接客を体験的に学ぶことができる。 ・接客ができる。 ・自分で作品製作を計画し作製することができる。 ・1年間で振り返り、発表することができる。	○	○	○	・授業態度 ・製作品

総時間数 210 時間

令和7年度 高等部 1～3学年 職業実習(陶芸) 年間指導計画

教 科 / 科 目	職 業 実 習 (陶 芸)	単位数 / 配当時間	6 単 位 / 210 時 間
学 年	1 ～ 3 学 年	担 当 者	
教 科 書			
副 教 材	ワークシート等		

到達目標
○自立し社会参加に向けて職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能を身に付けるとともに勤労を重んじる態度を養う。 ○実習を通して、完成の喜びを味わい、職業実習の心得や接客マナーを身に付ける。 ○正しい道具の扱いを身に付け、協力して作業を進める態度及び集中力・創意工夫する能力を身に付ける。

評価の観点		
a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
職業実習に必要な基礎的・基本的知識や、道具、機械の扱い方を身に付ける。	職業実習を通して、目標の設定や振り返り、感想等を文章や言葉で発表することができる。	働くことの意義を理解し、勤労を重んじる態度や働く喜びを味わう。

期 月	時 数	指導項目・単元	指導内容・活動(ねらい・目標)	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
1 学 期	3	オリエンテーション	・1年間の活動の確認 ・職業の心得について ・粘土に触れてみよう	○		○	授業態度 ワークシート
	72	商品作り及び販売	・作業工程を理解する。 ・行事に向けた商品作り(各種皿など)を行う。	○	○	○	授業態度 ワークシート 作品
	3	窯元見学	・職人の仕事や作品を見学しよう			○	ワークシート
2 学 期	84	商品作り及び販売	・作業工程を理解する。 ・各行事に向けた商品作り(各種皿など)を行う。 ・校外での販売学習、反省会	○	○	○	授業態度 ワークシート 作品 自己評価
	18	商品作り	・校内行事での販売用商品作りを行う ・販売学習、反省会	○	○	○	授業態度 自己評価
3 学 期	24	オリジナル作品制作	・これまでの学習を踏まえ、オリジナル作品作りをおこなう。	○		○	授業態度 作品
	3	1年間のまとめ	・1年間の振り返りを行う		○	○	授業態度 発表

令和7年度 高等部 1～3学年 職業実習(木工) 年間指導計画

教科/科目	職業実習(木工)	単位数/配当時間	6単位/210時間
学年	1～3学年	担当者	
教科書			
副教材	ワークシート		

到達目標
○作業学習を通して、作業に必要な基礎的・基本的な知識、技能を身につける。 ○物作りを通して満足感や成就感を体験し、働くことへの意識をもたせる。 ○販売学習を通して、接客の方法や金銭の取り扱いを身につける。 ○年間を通して継続する中で責任感を培い、勤労意欲をもたせる。

評価の観点		
a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
・工具や機械の名称を知る。 ・工具や機械の正しい使用方法を知る。	・作業の一連の流れを理解し、準備から片づけまで責任を持って取り組む。	・働く喜びを自覚し、仕事に対する意欲を持つ。 ・販売活動を通して、日頃の成果の確認と達成感を体験する。

期 月	時 数	指導項目・単元	指導内容・活動(ねらい・目標)	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
1 学 期	3	オリエンテーション	・1年間の活動の確認 ・職業の心得について ・機械に触れてみよう。	○		○	授業態度 ワークシート
	75	商品作り及び販売 ・工具の手入れ	・作業工程に従い木製品の製作 ・木取り、部品加工、組み立て、塗装等の作業。 ・工具や機械を教師と一緒に使用する。工具や機械の安全な使い方について。 ・協力して片付け、清掃を行う。 ・工具を手入れする。 ・自己評価をする。	○ ○	○ ○ ○	○	授業態度 ワークシート 自己評価
2 学 期	84	販売に向けて ・テーブル、イス等の生活必要品の製作 ・販売学習 ・工具の手入れ	・計画に従い木製品を製作する。 ・木取り、部品加工、組み立て、塗装等の作業。 ・工具や機械を教師と一緒に使用する。 ・販売活動 ・工具の手入れをする。	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	授業態度 ワークシート 自己評価

		・二学期の反省	・自己評価をする。				
3 学 期	48	・個人製作 ・自由製作 ・工具の点検と手入れ ・一年間の反省	・計画に従い木製品を製作する。 ・これまでの学習を踏まえ、オリジナル作品作りをおこなう。 ・1年間の振り返りを行う	○	○	授 業 態 度	
						授 業 態 度	
						作 品	
						授 業 態 度 発 表	

令和7年度 高等部 3学年 教科(職業実習:クリーン班) 年間指導計画

教科/科目	職業実習	単位数/配当時数	70
学年	3学年	担当者	
教科書	無し		
副教材	無し		

到達目標
・働く上での基本的な態度を身につける。(作業の心得) ・洗車・清掃作業をととして道具の扱いや掃除をするスキルを高める。 ・責任感や協調性の大切さや人との接し方の基本を学ぶ。 ・清掃・洗車・販売学習をととして働く喜びを得る。

評価の観点		
a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
職業生活に必要な基礎的・基本的知識、技能を身につける	自分の役割遂行や課題、将来の生活について考え、表現する。	他者と一緒に働くことを通して責任感を培い、勤労を重んじる態度を養う。

期 月	時 数	指導項目・単元	指導内容・活動(ねらい・目標)	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
通 年 を 通 し て 指 導 を 行 う		・働く態度	・働く上での基本的な態度を身につける。 (作業学習8つの心得)		○	○	授業態度
		・清掃	・清掃・洗車で使う道具を 正しく扱える。	○		○	作業意欲態度
			・技能検定のメンテナンス部門の清掃を 手順通り清掃できる。	○	○	○	作業協力
		・洗車作業	・洗車手順を覚える。	○	○	○	作業協力
				○		○	作業意欲態度
		・お客様との接し方	・お客様への心配りをする。				
		・仕事と報酬	・お客様に喜んでいただく と同時に仕事と報酬の関 係を理解する。	○	○	○	作業意欲態度
		・環境美化作業	・美化活動を行い、勤労の喜びを味わう。				
		・学習の振り返り	・学習内容を振り返り、課題確認と観点別 評価を行う。	○	○	○	評価シート

令和7年度 高等部 1・3年（Ⅱ課程B） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2単位 ／70		1・3学年			絵本、紙芝居、実物を用いた教材等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小・1段階) (思判表力)言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小・1段階) (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(小・1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していることを感じるができる。 (思判表力)身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 教師や友達の声を聞いて、反応している。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、身近な人の話し掛けに声や表情で表現している。 (主学)他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・自己紹介・他己紹介(インタビュー)をしよう	・友達の自己紹介を聞いたり、教師へのインタビューに参加したりして、たくさんの言葉に触れる。
		(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す物事やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力)教師の話や読み聞かせに応じ、表情や身ぶりで表現することができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技)教師や友達の声を聞いたり、言葉が表す具体物に触れたりする学習に参加している。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、読み聞かせや製作活動に参加し、声や表情で表現している。 (主学)他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・物語・詩を読もう ・敬語の使い方(就業体験、販売会に向けて) ・手紙の書き方	・絵本や物語などに親しみながら、言葉による伝え合いを感じる。 ・平和に関する作品鑑賞。 ・絵本の読み聞かせ(他学部交流) ・敬語を使ったロールプレイに参加する。 ・ICT機器を活用してお礼状を書く。
2学期	30	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していることを感じることができる。 (思判表力)身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 教師や友達の声を聞いて、反応している。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、教師と一緒に自分のことについて選んだり、発表内容を決めたりして表現している。 (主学)他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・夏休みの思い出 ・わかりやすく書く ・年賀状の書き方	・夏休みの思い出を文章や写真、絵で表現し、伝え合う。 ・自分の「好きなもの、おもしろいもの」を考え、ICT機器を使って発表する。 ・ICT機器を活用して年賀状を書く。
		(知及技) 昔話や易しい古典作品などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思判表力)教師と絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり登場人物などを模倣したりすることができる。 (学・人)言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 教師や友達の声を聞いて、反応している。 (思・判・表)「話すこと・聞くこと」において、物語を味わい、教師と一緒に内容を動きや表情で表現している。 (主学)他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・古典文学や沖縄の文芸に親しむ ・本に親しむ	・古典文学や郷土の古典芸能(組踊、琉歌)を学び、独特のリズムを感じる。 ・図書館の本を活用した学習活動や読書標語創作に参加する。 ・絵本の読み聞かせ(他学部交流)

3 学 期	14	(知及技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知る。 (思判表力) 文字に興味を持ち、書くこととする。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 教師と一緒に毛筆や硬筆で書いている。 (思・判・表) 「書くこと」において、書き初めを通して、文字への興味を声や表情で表現している。 (主学) 他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・冬休みの思い出 ・書初め(新年の抱負)	・冬休みの思い出を文章や写真、絵で表現し発表する。 ・毛筆で今年の目標を書く。
		(知及技) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思判表力) 短歌や俳句独特のリズムを味わうことができる。 (学・人) 多くの作品に触れ、短歌や俳句に親しむ態度を育てる。	(知・技) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れている。 (思・判・表) 「話すこと・聞くこと」において、教師や生徒の音読する声を聞いて、独特のリズムの味わいを声や表情で表現している。 (主学) 他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・百人一首 ・短歌、俳句	・百人一首(坊主めくり、散らし取り) ・カルタ ・短歌、俳句の鑑賞
		(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す物事やイメージに触れたりすることができる。 (思判表力) 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。	(知・技) 教師や友達の声の聞いたり、言葉が表す具体物に触れたりしている。 (思・判・表) 「読むこと」において、教師と一緒にポスターの指示に従って行動している。 (主学) 他者との交流に参加する中で、言葉でのやりとりを楽しもうとしている。	・いろいろな情報の読解 ・1年間のまとめ	・生活に関わる読み物から必要な情報を得、知識を活用する。 ・1年間の学習を振り返る。
		留意点 引継ぎ等	・通年を通して、季節の詩や歌、本の音読と共に手話表現を学ぶことで伝える手段を増やしていく。 ・発作がある生徒なので、常に目を離さないように配慮する。 ・言葉の表出が弱い生徒たちなので、教師側が小さな表出も見逃さないよう、授業を工夫して実践する。		

令和7年度 高等部 1,3年 (Ⅱ課程B) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
70		1年、3年		「ひとりだちするためのトラブル対策」改訂版	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知識・技能) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴や変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(小・生活科2段階) (思考力・判断力・表現力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。(小・生活科1段階) (主体的に学習に取り組む態度) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。(小・生活科2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	28	(知及技) 身近な日課や授業の予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動する。 (思判表力) 身近な人との接し方やきまり・マナーに気づき、それらを守って行動する。 (学・人) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	(知・技) 身近な日課や授業の予定が分かり、教師の援助を求めながら、日課に沿って行動しようとする。 (思・判・表) 身近な人との接し方やきまり・マナーに気づき、それらを守って行動しようとする。 (主学) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	オリエンテーション 【基本的生活習慣】 【安全】 【人との関わり】	・一年間の授業の流れ ・日課と予定の確認(コーヒーカスを捨てる) ・校内の防災マークを探そう ・あいさつをしよう
2学期	16	(知及技) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事について知り、それらを行うことができる。 (思判表力) 他者との接し方に気づき、自分の物と他者の物の区別を行うことができる。 (学・人) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	(知・技) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事について知り、それらを行うことができる。 (思・判・表) 他者との接し方に気づき、自分の物と他者の物の区別を行うことができる。 (主学) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	【手伝い・仕事】 【自分の物と他人の物の区別】 【遊具の後片付け】	・就業体験 ・絵カードを使った区別 ・八重山の遊びと遊具の後片付け
	16	(知及技) 伝統的な遊びについて興味をもって知ることができる。 (思判表力) 伝統的な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりする。 (学・人) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとするができる。	(知・技) 伝統的な遊びについて興味をもって知ることができる。 (思・判・表) 伝統的な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりする。 (主学) 自分のことに取り組もうとし、身近な人々に自ら働きかけようとすることができる。	【いろいろな遊び】 【地域の行事への参加】	・八重山の遊びと遊具の後片付け
3学期	14	(知及技) 社会の変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。 (学・人) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。	(知・技) 社会の変化に気付くとともに、身近な生活において必要な習慣や技能を身に付ける。 (思・判・表) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。 (主学) 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に自ら働きかけようとしたり、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとする。	一年間の振り返り	・一年間の振り返り ・今後に向けての展望
留意点 引継ぎ等		・就業体験実習、修学旅行、交流学习との関連付け、各活動の事前学習に対するスムーズな知識の接続が行えるようにする。 ・地域の年中行事などにも関連した学習を行う。			

令和7年度 高等部 II課程B 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	
2／70		1・3学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解する。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力を身につける。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味を持つことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身につける。 (思判表力)身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりすることで数量の性質を気付く力を身につける。 (学・人)数量や図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身につけている。 (思・判・表)身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりすることで数量の性質を気付く力が身につけている。 (主学)数量や図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとしている。	数量	・2つのものを比べて見分ける(形、色、大きさ)。
2学期	24	(知及技)身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力)身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。 (学・人)図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付き、違いに応じて関わることにについての技能を身に付けている。 (思・判・表)身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力が身につけている。 (主学)図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとしている。	図形	・2つのものを比べて見分ける(上下左右)。 ・同じ形のものをを見つける。
	20	(知及技)身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚を養う。 (思判表力)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力を養う。 (学・人)数量や図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技)身の回りにあるものの量の大きさに気付き、量の違いについての感覚が身についている。 (思・判・表)身の回りにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目し、量の大きさにより区別する力が身につけている。 (主学)数量や図形に気付き、関心をもって学習に取り組もうとしている。	量	・量の大きさ(大きい、小さい、多い、少ない等)
3学期					
留意点 引継ぎ等		生徒の心身の体調を優先し、授業を行う。			

令和7年度 高等部1・3学年 II課程B 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 3 5		1・3学年		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技) 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。 (思判表力) 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。 (学・人) 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的に探究する力を身に付ける。		
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 1年間の授業の流れを確認できる。 (思判表力) (学・人) 活動できる。	(知・技) 職員とともに授業の流れを理解している。 (思・判・表) (主学) 職員とともに活動しようとしている。	オリエンテーション ・1年間の授業の流れ
	10	(知及技) 熱を感じることが できる。 (思判表力) (学・人) 活動できる。	(知・技) 職員とともに熱を感じることが できる。 (思・判・表) (主学) 職員とともに活動しようとしている。	熱を感じる ・熱を感じてみよう
2 学期	10	(知及技) 生き物にふれるこ とができる。 (思判表力) (学・人) 活動できる	(知・技) 職員とともに生き 物にふれることができる。 (思・判・表) (主学) 職員とともに活動しようとしている。	八重山の自然と生 き物 ・校庭を散策しよう ・生き物にふれてみよう
3 学期	10	(知及技) 風を感じることが できる。 (思判表力) (学・人) 活動できる。	(知・技) 職員とともに風を感じることが できる。 (思・判・表) (主学) 職員とともに活動しようとしている。	風を感じる ・風を感じてみよう
留意点 引継ぎ等		自然の事物・事象をできるだけ見せる（体験させる）ことに努めるが、できない場合には ICT 機器を効果的に活用していく。		

令和7年度 高等部 II 課程 B 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2 / 7 0		1・3 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 音や音楽に注意や関心をむけ、音楽表現を楽しむために必要な技能を身につける。 (思判表力) 音や音楽に気づきながら興味を示して聴くことができる。 (学・人) 教師や仲間と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。			
期 学 数 時		単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う	70	【歌唱】 (知及技) 音楽の流れや曲想を感じ取り、関心を向けるようにする。 (思判表力) 発声や表情、身振りをなどで歌いたい気持ちを表現することができるようにする。 (学・人) 教師や仲間と一緒に音を楽しむことができるようにする。	【歌唱】 (知・技) 音楽の流れや曲想を感じ取り、関心を向けている。 (思・判・表) 発声や表情、身振りをなどで歌いたい気持ちを表現している。 (主学) 教師や仲間と一緒に音を楽しもうとしている。	【歌唱】 ・校歌 ・季節の歌 ・その他	【歌唱】 名前の歌に合わせて返事や、楽器を鳴らす。 季節の歌を聴いたり、楽器を鳴らしたりする。
		【器楽】 (知及技) 教師と一緒に楽器に触れ、音が鳴ることに気付くことができるようにする。 (思判表力) 自分で音を鳴らしたり、補助教材を使用して音を鳴らしたりすることができるようにする。 (学・人) 楽器の音に興味関心を示したり、音を鳴らそうとすることができるようにする。	【器楽】 (知・技) 教師と一緒に楽器に触れ、音が鳴ることに気付く。 (思・判・表) 自分で音を鳴らしたり、補助教材を使用して音を鳴らしたりする。 (主学) 楽器の音に興味関心を示したり、音を鳴らそうとしている。	【器楽】 ・打楽器 ・キーボード	音の出やすい楽器や持ちやすい楽器を教師が選んだり、自分の好きな楽器を選んで演奏する。 スイッチ教材等を使用し自分で音を鳴らせるよう支援する。
		【身体表現】 (知及技) 曲の緩急や音量を感じ取りながら、教師と一緒に身体を動かすことができる。 (思判表力) 教師と一緒に身体を動かしながら表現することができる。 (学・人) 仲間の動きや曲の緩急、音量を感じ取りながら教師と一緒に身体を動かせるようにする。	【身体表現】 (知・技) 曲の緩急や音量を感じ取りながら、教師と一緒に身体を動かしている。 (思・判・表) 教師と一緒に身体を動かしながら表現する。 (主学) 仲間の動きや曲の緩急、音量を感じ取りながら教師と一緒に身体を動かそうとしている。	【身体表現】 ・リトミック ・手遊び	教師と一緒に音楽を使ったマッサージやタッピング、手遊びをする。 様々な拍子の音楽を聴きながら、身体タッピングし拍子が感じられるようにする。
		【鑑賞】 (知及技) 様々なジャンルの音楽に触れ、好きな音色や楽器の音を見つけられるようにする。 (思判表力) 音や音楽を聴いて自分なりに楽しめるようにする。 (学・人) 仲間の演奏している音や、身近な人の演奏を聴き、音色や楽器の音を見つけられるようにする。	【鑑賞】 (知・技) 様々なジャンルの音楽に触れ、好きな音色や楽器の音を見つける。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて自分なりに楽しむ。 (主学) 仲間の演奏している音や、身近な人の演奏を聴き、識名音色や楽器の音を見つけようとしている。	【鑑賞】 ・様々なジャンルの曲	季節の音楽や様々なジャンルの音楽を見たり聴いたりする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1・3学年 II課程B 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／7 0		1・3学年			なし
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技) スライム作りの工程と一緒にやることのできる。 (思判表力) 色が混ざる様子や感触が変わることに気が付き興味を持つ (学・人) 触ったり、握った時の音を聞いたりする	(知・技) 触れることのできたか (主学) 触れて反応することのできたか	彫刻/鑑賞 「感触」	・スライム作りの工程を教師と一緒に行う ・スライムのみの感触と風船に入れた後の感触を触れて確かめる
	9	(学・人) 音や映像に反応することができる	(主学) 音の違いや映像の変化を感じて反応することのできた	デザイン/映像メディア表現/鑑賞 「音と映像」	・chrome musiclab で音や映像を感じる
	10	(学・人) 学校内にある植物の色や形の違い、匂い等に触れることができる	(主学) 植物の色や形の違い、匂い等に触れることができた	デザイン/鑑賞 「自然」	・校内を散歩しながら、様々な植物に触れる
2学期	10	(知及技) 水の音や感触などを感じる (思判表力) 水の音や色の透け感などに気づくことができる (学・人) 色水に触れることができる	(知・技) 水に反応することのできたか (思・判・表) 水の音や色の透け感に気づき反応することのできたか (主学) 色水に触れることができたか	絵画/鑑賞 「色水を感じよう」	・五感で色水に触れる
	20	(知及技) 土と水を混ぜながら変化することを知る (思判表力) ぬるぬるする粘土で身体のいろいろな部分にあてられる (学・人) 土に触れることができる	(知・技) さらにさらさらからぬるになる土の変化を感じることができたか (思・判・表) 身体各部で土に触れ反応することのできたか (主学) 土に触れることができたか	彫刻/鑑賞 「ぬるぬるの感触から」	・乾燥土から粘土になる変化を感じる
3学期	7	(知及技) 土を身体に当てて造形を行うことができる (思判表力) 土の温度や火の温度を感じる (学・人) 土に触れることができる	(知・技) 土を身体に当てて造形を行うことができたか (思・判・表) 土の温度や火の温度を感じ反応することのできたか (主学) 土に触れることができたか	彫刻/デザイン/鑑賞 「陶板→野焼き」	・陶板の制作 ・陶板の野焼き

	7	(知及技) 描画材を全身で扱うことができる	(知・技) 絵の具やペンなどの描画材を教師と共に扱うことができたか	絵画/鑑賞 「色にまみれて」	・様々な描画材で、教師と一緒に全身で描く
留意点 引継ぎ等	・B 鑑賞については、視覚だけではなく、嗅覚・触覚・聴覚、場合によっては味覚も含めて五感を使って感じることができるようにしている。 ・授業内での調べ学習、メディア表現ではタブレット端末を活用している。				

令和7年度 高等部（Ⅱ課程B）体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		1・3学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようになる。 (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する		(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようすることができる。	(知・技) 教師と一緒に簡単な手や足の運動を行うことができる。 (思・判・表) 手足を動かしたりすることの心地よさを表現している。 (主学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、運動をしようとしている。	・体づくり運動遊び ・ふれあい体操	簡単な手や足の運動。 ・手足を伸ばす ・手足を曲げる ・腕を振ったり、回したりする ・肩の上げ下げ ・膝の曲げ伸ばし。
	26	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従ってボール遊びをしようすることができる。	(知・技)・教師と一緒にボールを転がす、投げる、蹴る、当てるなどをして楽しくあそぶことができる。 (思・判・表)教師と一緒にボールに触れ、手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)教師と一緒に簡単な合図や指示に従ってボール遊び遊びをしようとしている。	しっぽとり鬼ごっこ ボール運び鬼	・教師と一緒に走ったり歩いたりして鬼から逃げる。 ・教師と一緒に相手のフラッグを捕る ・教師と一緒にフラッグを捕られないように走り、ボールを持てはこぶ。 ・教師と一緒に相手のフラッグを捕る。
1学期		(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しくすることができる。 (思判表力) 水の中で浮いたり、手足を動かしたり、体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人)	(知・技) 教師と一緒に水にふれたり、浮いたり、温かい、冷たいと感じたりしながら、あそぶことができる。 (思・判・表) 水の中で浮いたり、手足を動かしたりすることの心地よさを表現している。 (主学)	水遊び	教師と一緒に ・水にふれたり、すくったりしてあそぶこと。 ・水をはじいたり、かけたりすること。 ・水に浮きゆらゆら楽しむこと。 教師と一緒に、浮いたり手足を動かしたりして楽しく体を動かすことができるようにする。 ・教師と一緒に水をはじいたり、かけたりすること。

		教師と一緒に簡単な合図や指示に従って水遊びをしようすることができる。	教師と一緒に簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。		たりすることができる。 ・教師と一緒に水に浮きゆらゆら楽しむことができる。
2 学 期	30	(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。 (思・判・表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って表現遊びをすることができる。	(知・技) ・音楽を感じながらと自由に体を動かしたり、先生と一緒に動かしたりすることができる。 ・音楽を感じながら先生と一緒に歩いたり、走ったりすることができる。 (思・判・表) 音楽や太鼓の響きやリズムに触れ、体を動かす楽しさや心地よさを表現している。 (主・学) 先生と一緒に簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。	・表現遊び エイサー ・表現遊び ダンス (特体連ダンス)	・音楽を感じながらと自由に体を動かしたり、先生と一緒に動かしたりする。 ・曲に合わせて、教師と一緒に手足を動かしたり、自由に体を動かしたりする。
3 学 期	14	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思・判・表力) 手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って走る運動遊びをしようすることができる。	(知・技) ・教師の言葉かけやリズムに合わせて一定の時間や距離を一緒にゆっくり走ったり歩いたりすることができる。 (思・判・表) 手足を動かしたり、歩いたり走ったりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主・学) 教師と一緒に簡単な合図や指示に従って走る運動遊びをしようとしている。	・走る運動遊び 持久走	・教師の言葉かけやリズムに合わせて一定の時間や距離を一緒にゆっくり走ったり歩いたりすること。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部Ⅰ・3学年 II課程B 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		Ⅰ・3学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより健康に過ごすための習慣を身につける。 (思判表力)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより快・不快を表現する。 (学・人)一連の作業・活動や周りからの働きかけにより笑顔を増やす。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	70	(知及技)身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にすることができる。 (思判表力)自分自身や身の回りのことに関心を持つことができる。 (学・人)教師と一緒に安全に活動することができる。	(知・技)手、目、耳の感覚を活用した活動を行っている。 (思・判・表)手を自ら伸ばし、作業を見て行っている。快・不快の表現している。 (主学)作業を見て行っている。笑顔を見せている。	A職業生活 作業	室内外の作業・活動
		(知及技)表情で体調を伝えることができる。体操を教師と一緒に行うことができる。 (思判表力)身の回りの人との関わりに関心を持つこと。快・不快を表現する。 (学・人)笑顔を見せる。	(知・技)体操を教師と一緒にしている。 (思・判・表)呼びかけに顔をあげ反応する。快・不快を表現している。 (主学)笑顔を見せている。	A職業生活 健康管理 人との関わり 余暇活動 基本的生活習慣 体操	適切な休憩時間の過ごし方及び体調管理 ふれあい体操やストレッチ体操
		(知及技)iPadに触れ操作する。 (思判表力)実習での様子を映像で発表することができる。 (学・人)画面を注視することができる。笑顔を見せる。	(知・技)iPadで動画を見てiPadになれる。 (思・判・表)教師と一緒に発表を行っている。 (主学)画面を見て触れている。笑顔を見せている。	B情報機器の活用 就業体験振り返り 余暇活動	iPadの利用 音楽や動画を楽しむ活動
		(知及技)実習に関する学習を意欲的に行う。 (思判表力)実習での様子を映像で発表することができる。 (学・人)写真や動画で実習を振り返ることができる。	(知・技)実習に関する活動に意欲的に行っている。 (思・判・表)快・不快を表現している。 (主学)笑顔を見せている。	C産業現場等における実習	就業体験実習及び事前事後学習 販売学習にむけての事前事後学習及び販売学習
		留意点 引継ぎ等			

令和7年度 高等部1・3学年 II 課程 B 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1・3学年			くらしに役立つ家庭 ワークシート
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 (思判表力) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したこと根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題解決する力を養う。 (学・人) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	(知及技) 人の一生について様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報を知る。 (思判表力) ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について課題を解決しようとする力を身につけている。 (学・人) 消費者行動の意思決定について身につける。	(知・技)・人の様々な生き方や家庭の役割についての学習に参加している。 (思・判・表)・さまざまな家族の状況を知り、家庭生活の問題を教師と一緒に表現しようとしている。 (主学)・家族の存在を大切に感じ生活に生かそうとしている。	・オリエンテーション ・「家庭とくらし」 ・家庭の役割 ・高齢者を支える介護について ・「ライフスタイルと環境」 ・計画的な	・家族の一員としての仕事(家事)の種類について ・生涯の生活設計について考える
	6	(知及技) 生活に必要な基礎的、基本的な知識や道具、器具などの正しい使い方を身に付けている。 (思判表力) 生活を豊かにする作品製作に集中して取り組むことができる。 (学・人) 家庭生活で必要な知識や技術を生かし、安全や衛生に気をつけて実習に取り組むことができる。	(知・技)・いろいろな道具を教師と一緒に安全に使用しようとしている。 (思・判・表)・手作りする楽しさを味わいながら、教師と一緒に表現している。 (主学)・できる作業を教師と一緒に安全に気をつけ取り組もうとしている。	・生活に役立つ作品製作(ティッシュケース、巾着袋作り)	・自分専用の三角巾、巾着袋を作ろう。
2学期	15	(知及技) 沖縄の住宅の特徴について理解することができる。 (思判表力)・住宅の機能や快適性について、課題解決に向けて話し、考えたことをまとめ表現することができる。 (学・人)・住生活と住環境への課題解決に主体的に取り組むことができる。	(知・技)・自分の住んでいる地域の住環境について仲間の発表を聞きながら参加している。 (思・判・表)・家族との生活の場としての住居の工夫を授業に参加しながら教師と学習し表現している。 (主学)・住生活に家具家電の配置について教師と一緒に取り組もうとしている。	・住生活について ・住まいと環境 ・住まいと安全	・沖縄の住宅の特徴について(換気、採光、掃除) ・家庭内事故の種類
		(知及技)・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の主な栄養素とその役割を教師と一緒に考えることができる。 (思判表力) 健康や環境に配慮した	(知・技)・健康によい食事を考え、食品の栄養や組み合わせの優劣を考えようとしている。 (思・判・表)・調理中の匂いや音	・食事と健康 ・健康な体をつくる食事調理実習	・6つの食品群別摂取量と食品について ・食事作りの手順について ・食品の選び方 ・調理実習

		食生活について教師と一緒に取り組み感じることができ (学・人)・食事の役割、栄養、食生活について学び、よりよい食生活を目標とし、教師と一緒に工夫し、考えることができる。	を感じ、調理の楽しさを表現しようとしている。 (主学)・食事の役割について教師の話聞いて考え生かそうとしている。		(ゼリー、カレー、クッキー)
3 学 期	7	(知及技)・ライフステージや目的に応じた被服の機能や着装について考えることができる。 (思判表力)・被服の機能や快適性について考え、健康や環境に配慮しながら問題点を見いだすことができる。 (学・人)・衣生活と健康についての課題を知り、教師と一緒に参加しながら解決策を学ぶことができる。	(知・技)・TPOに応じた被服の役割があることを知り、教師と一緒に学ぼうとしている。 (思・判・表)・衣服の種類に応じた洗濯について教師と一緒に取り組みながら表現しようとしている。 (主学)・自分の体に合った既製服のサイズや衣服の保管の仕方を教師と一緒に学ぼうとしている。	・衣生活について 被服製作 ・一年間の振り返り	・衣服の洗濯について ・衣服の再利用について ・JIS(日本工業規格)について
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	教科書／副教材
1／35		1・3 学年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等					
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師と共に活動的で楽しい時間を過ごすことができる。 (思判表力) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師からの働きかけに身体の動きや表情で応えることができる。 (学・人) 日常会話の基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして教師と共にコミュニケーションを楽しむことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
Ⅰ学期	3	(知及技) 支援を受けながら英語の挨拶や名前の言い方を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら名前を言って挨拶をし合う。 (学・人) 支援を受けながら相手に伝わるように名前を言って挨拶を楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	あいさつして友達になる	Hello. Hi. I' m (Hinata). Goodbye. See you.
	3	(知及技) 支援を受けながら感情や状態を尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら表情やジェスチャーをしながら挨拶をし合う。 (学・人) 支援を受けながら表情やジェスチャーで挨拶を楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	ごきげんいかが	How are you? I' m (happy).
	3	(知及技) 支援を受けながら1から20までの数の言い方や数の尋ねることを楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら数を尋ねたり答えたりすることを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	数えてあそぼう	How many (apples)? (Ten) (apples). Yes. That' s right. No. Sorry.

		(知及技) 支援を受けながら色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら自分の好みを伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の好みを紹介することを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	好きなものを伝えよう	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
	4	(知及技) 支援を受けながら身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら何が好きかを尋ねたり答えたりすることを楽しむ。 (学・人) 支援を受けながら何が好きかを尋ねたり答えたりすることを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	何が好き？	What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
	5	(知及技) 支援を受けながら英語の音声や読みを楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら自分の姓名の頭文字を伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の姓名の頭文字を伝えることを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	アルファベットとなかよし	(The "A" card), please. Here you are. Thank you. You're welcome.
2 学期	5	(知及技) 支援を受けながら形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 支援を受けながら自分の作品を紹介することを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをとおして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	カードをおくろう	What do you want? (A star), please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.

3 学期	4	(知及技) 支援を受けながら身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながらクイズを出したり答えたりし合う。 (学・人) 支援を受けながらクイズを出したり答えたりすることを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをととして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	これなあに？	What ' s this? Hint, please. It' s (a fruit). It' s (green). It' s (a melon). That' s right.
	3	(知及技) 支援を受けながら誰かと尋ねたり答えたりする表現を楽しむ。 (思判表力) 支援を受けながら絵本などの短い話を見て、聞く。 (学・人) 支援を受けながら絵本などの短い話を反応しながら見る、聞くことを楽しむ。	(知及技) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスを教師と共に楽しんでいる。 (思判表力) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスをととして、教師からの働きかけに応えている。 (学・人) 日常会話における基礎的なフレーズの歌やダンスにより、教師と共にコミュニケーションを楽しんでいる。	きみはだれ？	Are you (a dog)? Yes, I am. / No, I' m not. Who are you? I' m (a dog). Who am I? Hint, please.
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1・3学年 II 課程 B 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35		1・3学年		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		(知及技)さまざまな情報機器について知る。 (思判表力)さまざまな情報機器を使って気持ちを表現する力を養う。 (学・人)さまざまな情報機器に慣れ親しもうとする態度を養う。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)コンピュータに触れることができる。 (思判表力)コンピュータを活用して、自分の気持ちを表現することができる。 (学・人)入力装置に触れ、機器の動きや反応を見て楽しむことができる。	(知・技)コンピュータに触れようとしている。 (思・判・表)コンピュータを活用して、伝えたいことを表現しようとしている。 (主学)入力装置に触れ、機器の動きや反応を見て楽しむようとしている。	・コンピュータに触れてみよう。 ・コンピュータの起動・終了 ・情報機器の基本操作の確認 ・情報機器に基本操作を知る ・iPad 画面タッチで入力してみよう
2学期	14	(知及技) iPad に触れることができる。 (思判表力) iPad を活用して、伝えたいことを表現することができる。 (学・人) iPad に慣れ親しむことができる。	(知・技) iPad に触れようとしている。 (思・判・表) iPad を活用して、伝えたいことを表現しようとしている。 (主学) iPad に触れ楽しむようとしている。	・iPad に触れてみよう。 ・iPad の起動・終了 ・iPad の基本操作を確認 ・情報機器に基本操作を知る ・音と光に対する反応
3学期	9	(知及技) アプリケーションを体験することができる。 (思判表力) アプリケーションを操作し楽しむことができる。 (学・人) 情報機器に自ら触れることができる。	(知・技) 教師の手添えによりアプリケーションを体験しようとしている。 (思・判・表) アプリケーションを操作し楽しむようとしている。 (主学) 情報機器に自ら親しもうとしている。	・さまざまなアプリケーションを体験してみよう。 ・iPad でアプリケーションの活用
留意点 引継ぎ等		・実生活と教科の学習を関連付けた教材の工夫。		

令和7年度 高等部1・3学年 II課程 B 特別の教科 道徳 年間指導計画

教科／科目	道徳	単位数／配当時数	1／35
学年	1・3学年	担当者	
教科書			
副教材			

年間目標
・学校の教育活動全体を通し、それぞれの具体的な場において適切な指導を行い、明るく豊かな道徳的心情、実践意欲と態度を育てる。

期 月	時 数	指導項目・単元	ねらい・目標	評価規準
通 年	17	・あいさつ ・礼儀、作法 ・学校生活 ・優しさ	・他者への親しみの気持ちを伝えることができる。 ・学校生活で楽しみにしていることを表現する。 ・日常生活の中で喜びを表現できる。 ・他者に優しく接しようとする。	・他者への親しみの気持ちを伝えようとしている。 ・学校生活で楽しみにしていることを表現している。 ・日常生活の中で喜びを表現しようとしている。 ・他者に優しく接しようとしている。
	18	・決まり ・健康安全 ・他者との関係	・決まりについて考え、共有する場所や物を大切にする。 ・自分の健康に気をつけて活動することができる。 ・他者と協調し、与えられた役割を最後までやり遂げる。	・決まりについて考え、共有する場所や物を大切にしようとしている。 ・自分の健康に気をつけて活動しようとしている。 ・他者と協調し、与えられた役割を最後までやり遂げようとしている。